

【エポック】 経営編

＜追加＞
高柳先生・高野さん関係

社内報資料アーカイブス

ビクター社内報

- ・大和（月刊誌）
- ・ビクター時報
- ・ビクターニュース

2015年（H27）9月

資料提供：西郷 治男

編集：清水 邦昭

< 社内報アーカイブス・エポック関連 経営編 >

～ 今回の企画の背景 ～

社内報アーカイブスの最後となる9月は「エポック関連・経営編」としたもの、その対象は広範囲にわたり、選出候補記事も多かったため、初回（7月）高柳先生関連や前回（8月）技術開発・新商品関連の時よりも大変な作業でした。

改めて所有している社内報（昭和47年入社～平成14年早期退職まで）をすべて見直していくと、高柳先生関連の記事で数件の漏れがあることが分かりました。またミスターVHS・高野さん関連の記事も多数に及ぶため、今回の経営編で「高野さん関連と高柳先生関連」を別途【追加】として掲載させていただきます。

経営編については、技術開発・新商品関連の時よりも判断基準が非常に難しいこと、また対象範囲も技術・商品関係以外のエポックすべてとなるため、最初にピックアップした記事数は何と50件を超えてしました。そこで、記事リスト作製段階でフォーマット上の制約から全体で30件と決め、全社的に重要と思われるものを吟味しました。最終的に絞り込む条件としては、経営トップ人事、大きな組織変更、全社的な運動・施策、風土改革、PR施設等を優先し、国内及び海外の工場・事業所・現地法人、関連会社、ソフト・システム・部品・メディア関係に関するものは一部のみとさせていただきました。結果としては、時代毎のバランスも考慮したものの多少の偏りやバラつきも出てしまいました。

以上の背景や経緯をご理解いただき、これまで以上に私（西郷）の独断と偏見で総数30件とさせていただいたことを何卒ご了解ください。

今回、初めに選出した約50件の記事から最後は30件に絞り込みましたが、その中でも捨て難い記事だったのは、百瀬会長や徳光副社長の厳しくも説得力のあるお話、松野社長が取り組まれた社内風土改革でした。また経営関連とは異なりますが、男子バレーボール部や岩井工場・女子ハンドボール部の大活躍も企業PRという面で取り上げました。他にも残念ながらいくつかの記事を切り捨ててしまつたことが本当に心残りです。逆に何としても入れたかったのは29番目の「麻倉怜士先生の講演」で、紙面スペースがなく小さな記事ですが、本音は1面トップにしたかったので、勝手ながら私の独断で入れさせていただきました。

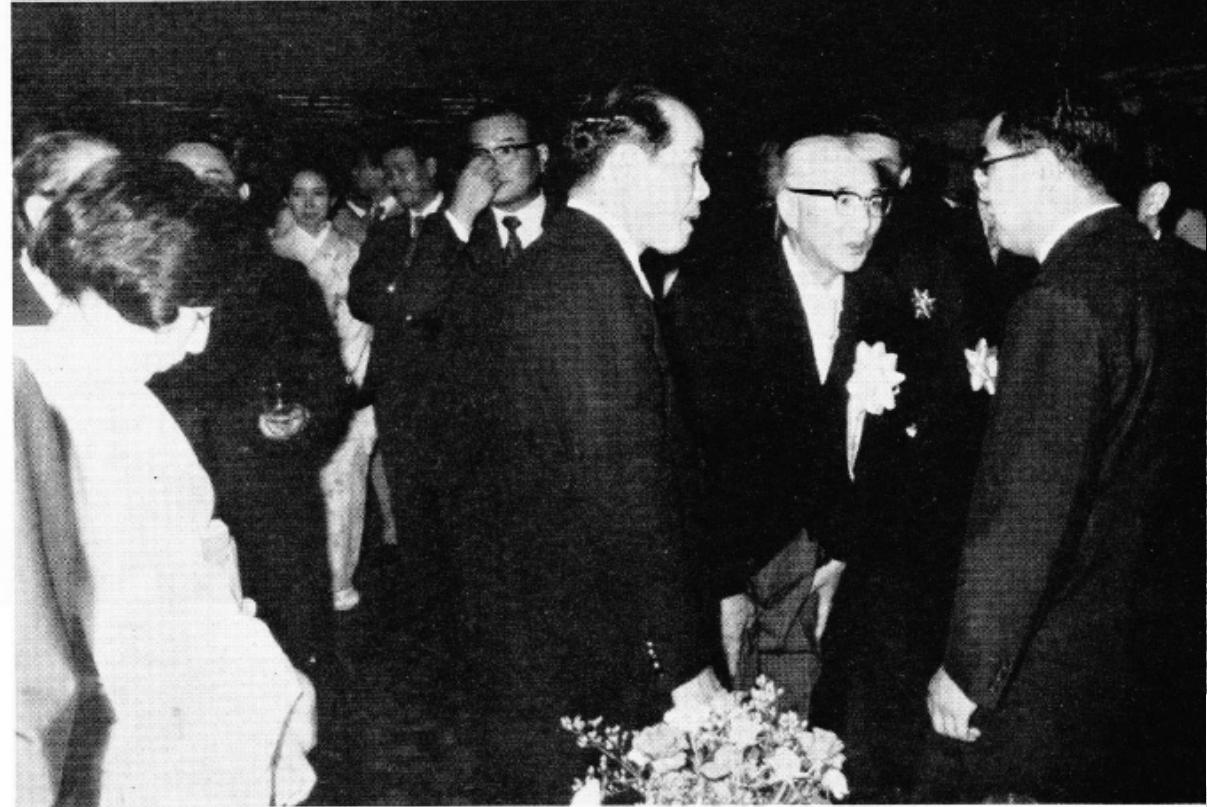
限られたスペースですが、今回の記事「経営編 30件」を振り返って見ていただければ、昭和時代の途中からですが日本ビクターの歩みが経営の縮図として懐かしく思い出されるのではないでしょうか。

NO.	西暦	年 月 日	発行NO.	面(頁)	タ イ プ	記 事 内 容
1	1972	大和 S47.8	220	グラビア	盛大だった創立披露、ビクター音楽産業株式会社	昭47.6ビクター音産創立披露パーティー、今は見られないニッパー犬の氷彫刻
2	1973	S48. 6. 1	106	5	インフォメーションセンター、迅速回答15分以内、お客様第一主義さらに前進	消費者志向の一環で本社5階ショールームに設置、6/1から業務開始
3	1973	S48. 7.16	109	3	昭和47年度改善提案1人当たり日本一、全員のヤル気です	HR協会調査で1人当たり件数全国第1位、全従業員の積極的意欲の表れ
4	1973	S48.11. 1	116	1	経営陣に大幅な異動、新社長に松野氏、徳光常務は副社長に内定	10/26、新社長は松下電器常務・松野幸吉氏、現経営陣は取締役に内定
5	1973	S48.12. 1	118	1	経営新体制スタート、大和一致で新風まき起こそう	11/19取締役会で松野社長と徳光副社長の抱負、北野前社長退任挨拶
6	1974	S49. 4.11	127	1	音楽は心のシャワー、最新技術を集めてミュージックプラザ(VMP)	高田馬場に開設、新タイプショールーム概要、オールビクターの総力結集(7月完成)
7	1976	S51. 3.16	178	1	販売体制さらに一歩進む、独立会社9ヵ所に設立	昭50.10月の北海道ビクター、九州ビクターに続き、9ヵ所の営業所が独社移行
8	1976	S51.12. 1	194	1	デコマス 新ビクターマークを採用、企業イメージの統一へ	創立50周年を機に昭52.4月から犬マークは周囲の○を取った新ロゴに変更
9	1977	S52. 3.16	200	4-5	50周年—施策いろいろ、記念論文、デコマス、社史、緑化計画、その他	52年度は50周年、形式より実質を重視した記念論文等の各施策を紹介
10	1977	S52. 4. 1	201	4-5	経営戦略のためのデザイン統合、デコマス実施、3年間ですべて切り替え	4/1から段階的実施、マニュアルで詳細規定、新ロゴ・社名で新たなイメージ戦略
11	1977	S52. 9.16	211	1	はれて創立50周年、松野社長挨拶、松下相談役メッセージ	※記事ピックアップは懐かしい横浜文化体育館の式典の写真のため
12	1977	S52.11. 1	214	4-5	ビクタービデオセンターVIC はなやかにオープン、盛り沢山の催事 展即会	10/17、旧虎ノ門ショールームにVICがオープン、ビデオの面白さを知ってもらう
13	1978	S53. 8.12	231	4-5	がんばれ ヨコヨコ (松野社長提唱「ヨコヨコ運動」の事例紹介)	ビデオ; 全社の力、インテリア; デザイン部と連携、白黒テレビ; ラ録のノウハウ提供
14	1979	S54. 7. 1	251	1	松野会長、宍道社長、新体制スタート	松野会長は会社を支え、宍道社長は衆知経営、徳光副社長は取締役に
15	1981	S56. 3.16	287	1	拡大へ各部門がGO、生販それぞれ責任果たそう	各工場部の生産体制拡大状況(水戸、岩井、伊勢崎、藤枝、八王子など)
16	1982	S57. 3. 1	307	4-5	みんなで「ポパイ(Popeye)」しよう、創造の風土づくりに	昭31全社改善提案コンクール以来26年の活動の歩み、新たなPopeye運動
17	1982	S57. 5.13	311	1	好業績におごらず新たな行動を、56年度決算発表	5/7、過去最高実績(売上4943億円、経常利益490億円)、強い商品が貢献
18	1984	S59.10. 1	359	8	一つの企業の二つのマーク、VICTOR(国内)/ JVC(海外)	国内は犬のマーク; VICTOR、海外はJVCで、従来のNIVICO外すをアピール
19	1986	S61. 5.10	391	1	トップ人事を内定、垣木専務が社長に	4/22発表、宍道社長は会長に、松野会長は相談役に内定
20	1986	S61. 6. 1	392	1	役員人事を内定、高野専務が副社長、金子取締役が常務など	5/12、取締役会で高野専務が副社長他の役員人事内定、6/18正式決定
21	1988	S63.11.16	442	1	ビクタービルが完成、先端的なショールーム 28'SGINZA開く	ビクターゆかりの地である新橋にオープン、地上9階地下1階で銀座の新名所
22	1990	H 2. 5.10	473	1	トップ人事を内定、垣木社長が会長、坊上副社長が社長に	4/26発表、坊上副社長(平2年就任)が次期社長、高野副社長は監査役に
23	1992	H 4. 2.16	507	1	全社を変える大幅組織改革、大企業病の根を断ち活力ある体質へ	昭42事業部制以来、25年ぶり機構改編、事業分野明確化と本社スリム化
24	1993	H 5. 4.20	531	1	ビクターエンタテインメントが発足(音産と日本AVCが4/1合併)	制作、販売の一体化で環境変化に対応した総合ソフト会社としてスタート
25	1994	H 6. 6. 1	545	1	新経営体制決まる、新社長に守随武雄氏が内定	5/24発表、次期社長に守随氏(松下取締役)、坊上社長は相談役に
26	1997	H 9. 7.15	603	4-5	V70社員参加イベント、あなたはいくつ参加?全員でチャレンジしましょう	70周年事業の対外的行事の他、従業員・家族向け社員参加イベントを実施
27	1998	H10.10.15	629	4-5	グローバルに拡がるJVCグループのホームページ	ビクター、VE、海外現法各社のHP紹介、現状のアクセス数やリニューアルの概要
28	2000	H12. 3.25	651	1	目指せ!スピード経営、4月から7つのカンパニー発足(国内4、海外3)	4.1よりカンパニー制導入、組織と狙い、本社・カンパニーの責任・権限・機能
29	2001	H13. 2.15	664	2	麻倉怜士氏講演会 ビクターの強みは「人を感動させる力」	1/29、21世紀のビクターの進路のテーマで現状の課題と今後の方向性を示唆
30	2001	H13. 5.15	667	1	新たな経営体制決まる、次期社長に寺田顧問が内定	4/26発表、次期社長に寺田顧問(平12就任)、守随社長は顧問に

NO.	西暦	年 月 日	発行NO.	面(頁)	タ イ プ	記 事 内 容
<追加> 高柳先生関係						
1	1973	大和 S48.2	226	グラビア	「良い商品は良い人間が作る」中国電視工業考察団も感心	昭47.11中国テレビ工業視察団が岩井工場見学、高柳副社長も工程説明
2	1980	S55. 8.10	274	7	高柳先生をたたえ旧浜松高工(現静岡大学工学部)跡に記念碑	7/7、当時研究室だった現西部公民館に先生の功績たたえ記念碑建立
3	1986	S61.11. 1	401	6	経営者、大学教授のみなさんに高柳先生が講演	10/14、音研で実践経営学会75名に苦難の研究やチャレンジ精神を講演
4	1987	S62. 8.10	416	1	高柳健次郎先生がアラバマ大学特別名誉教授に	久里浜高柳記念ホールで副学長より高柳先生に称号額、記念メダル授与
5	2003	H15. 1. 9	688	4	テレビ放送開始に挑んだ技術者たちの物語(NHK「プロジェクトX」収録)	宍道元社長他ゲスト出演者で12月中旬、NHKでスタジオ収録、1/28放映
6	2003	H15. 2.15	690	8	高柳イズムを見つめ直す絶好の機会!「燃える魂」序編の必読を	75周年記念「燃える魂」序編高柳先生紹介をPR、イトラ社内報にも掲載
<追加> 高野さん関係						
1	1974	S49. 2.16	123	1	「価値あるビデオに」業界初ビデオ紙合同記者会見(高野(ビ事)長)	2/12、記者を前に「ビデオの利用価値を拡げビデオ産業確立に努力したい」
2	1979	S54.10.16	257	4-5	従来の枠を超えた意識改革と構造改革、ビデオに新たな目標を	高野(ビ事)長はVHS3年目に新たな目標と80年代にかけるロマンを語る
3	1992	H 4. 1.25	506	2	高野常任監査役が死去、VHSの事業化に不滅の功績	1/19、前副社長高野さんが東京都内の病院で死去、68才
4	1992	H 4. 3. 1	508	2	VHSの父に最後のお別れ、高野常任監査役社葬に1400人	2/18、青山葬儀所で高野さん社葬、各界から最後の別れ
5	1992	H 4. 3.16	509	2	故・高野常任監査役に従五位勲3等瑞宝章授与	3/4、科学技術庁で伝達式が行われ智恵子夫人に授与
6	2000	H12. 3.25	651	4	「プロジェクトX」放送日4/4、執念の逆転劇・VHSビデオの誕生	NHK-TV人気番組の第2回目放送は高野さん中心のVHS開発の感動ドラマ
7	2000	H12. 4.15	652	12	「プロジェクトX」大反響!速報(社外/社内の視聴後感想)	4/4放送後、電話などで寄せられた社外/社外の感想や反響の一部紹介
8	2000	H12. 5.15	653	8	「プロジェクトX」大反響!続報(前号に続き)、ビクターファンになりました	前号に続いて掲載、繰々と寄せられた感想や反響の中から一部を紹介
9	2002	H14. 6.15	681	3	映画「陽はまた昇る」いよいよ6/15全国公開、感動の輪を拡げよう	故高野元副社長がモデルのVHS開発ストーリー、感動の試写会風景

● 盛大だった創立披露

〈ビクター音楽産業株式会社〉



場内で吉田正先生と談笑する百瀬会長と北野社長（上）。お客様にあいさつする八木沢社長と笠島常務（ビクター音産）（下）



会場入口では、わが社を、というよりも日本を代表するアーチストのみなさん、また、八木沢ビクター音楽産業株社長、わが社の百瀬会長、北野社長などが出席者のみなさんを出迎えました。（左は八木沢社長）

タイトル 「盛大だった創立披露、ビクター音楽産業株式会社」
記事内容 「昭47.6 ビクター音産創立披露パーティー、今は見られないニッパー犬の氷彫刻」



その2

ニッパー の氷彫刻

さる六月二十六日、東京・港区の
ホテル・オークラで行なわれたピク
ター音楽産業株の創立披露バーテイ
ンは、業界はもとより政、財界、マ
スコミ界など各界から一千人の知名
人のみなさんが出席、心から栄光あ
ふれる未来への船出を祝福してくだ
さいました。

まさに四十五年の伝統を誇り、業
界のリーダーとして音楽文化に貢献
するピクターならではの大盛況。
それだけに、新会社ピクター音楽産
業へ寄せられた期待は大きく、また
これから的发展は、一般の多くの音
楽愛好家からひじょうな注目を集め
ており、その使命はますます重要な
ものになつたといえるでしょう。

写真上 場内には氷づくりのニッパー
マーク。約一千人のお客様まで大
変な盛況でした。

写真左 会場中央舞台では、西川宗
家みなさんの出演による、祝言能の
「三番叟」が演じられました。

迅速回答15分以内

インフォーメーション・センター

「お客さま第一主義」さらに前進

「あたび、わが社では広報室に消費者志向の一環として窓口を一本化し、「お客さまの相談室」と名づけ、「インフォーメーション・センター」を設置し、本社五階ショールームに窓口を開設し、六月一日から業務を開始しました。



志田センター長

あつては出先営業所をはじめ、各地ショールームや関連会社がお客さまの窓口として「お客さまの声」を社内関係部門に結びつけていましたが、最近の業務が複雑多岐にわたるその質問、要望事項の内容もますます高層化し、一方各企業においても消費者運動のたたまといでは本社内にあっては総務、営業、広報を中心として電話、郵便等によるサービスをはじめとしてお客さまの窓口を保ち、第一線に

「主義」の思想にのじて、製取一体の消費者志向を前提としたためので、オールピクターとして、オーディオ、ビデオ機器を中心にして、サービス、ローン関係についての「購入の相談」はじめお問い合わせ等の窓口をはじめお問い合わせ部門の協力が大切で、従業員全員がインフォーメーション・センター設立に際しては各部門の協力を大切に、従業員全員がインフォーメーション・センター長役

いあわせ、要望に応じて、このマンたるべく応援する」とが期待されます。

それを通じてお客さまに誠意をもってお答えするところが、業務を通じて得た各種情報を関係部門に提供する「情報交換」の役割を果す

ことになります。

このセンターは「お客さま第一

志田新一
インフォーメーション・センター長
4336、4455。業務は本社勤務
体制と同じです。
▼センターの役付免はつ

坂野昌男
（インフォーメーション・センター長役）
新
志田新一
インフォーメーション・センター長役
田
ヨン・セ・村・調査
（坂野昌男）
新
志田新一
インフォーメーション・センター長役
田
ヨン・セ・村・調査
（坂野昌男）



本社5階に開設されたインフォーメーション・センター

ピクター時報-2
発行月日
：1973年
S48.6.1
発行NO.：106
面（頁）：5

タイトル
「インフォーメーションセンター、迅速回答15分以内、お客様第一主義さらに前進」

記事内容
「消費者志向の一環で本社5階ショールームに設置、6/1から業務開始」

昭和47年度改善提案

1人当たり件数で日本一

全員のヤル気です

HR協会の調査でわかる

近代経営社発行「人と経営」七月号で提案が特集されていますが、これによると、わが社はひとりあたりの平均提案件数で全国第一位という結果が出されました。

日本HR協会では、毎年会員社をおもな対象として、提案の活動を行なっており、これによると、わが社はひとりあたりの平均提案件数で全国第一位という結果が出されました。今回は実施会社七十六社、未実施会社二十六社の回答をまとめたものです。

これによると、ひとりあたりの平均提案件数は、わが社が十三・九件でトップとなっており(ベスト10企業平均7・8件)、いってみます。今は実施会社七十六社、未実施会社二十六社の回答をまとめたものです。

第1四半期(4~6月)実績

Aグループ総	件数	1人当たり
カラー 事 第1位	8,555件	2.54件
前 事 第2位	2,849件	2.31件
ス 事 第3位	7,088件	2.13件
Aグループ計	23,086件	1.43件
Bグループ		
テ 一 研	357件	0.76件
横 事	103件	0.66件
レ 事 大 和	276件	0.59件
Bグループ計	1,026件	0.21件
Cグループ		
サ 本 第1位	645件	4.92件
人 本 八 王 子 第2位	209件	2.94件
技 学 第3位	240件	2.58件
Cグループ計	1,179件	0.21件
合 計	25,293件	0.95件

提案制度というのは、わが国でよくは無心ですが、この制度に積極的な企業では、件数も大きく伸びているのは当然とはいえ、従業員の声を経営に反映させるといえます。

一般には、企業の規模が大きくなればなるほど従業員ひとりひとりのアイデアを吸いあげていくことがむずかしくなっていきます。

提案制度が生きてくるのは、人

中の激しい変化に対応していく

べきです。

従業員ひとりひとりの

想いが、そのまま社内に響いてい

く、それが、企業の発展につな

がります。

従業員ひとりひとりの想い

が、そのまま社内に響いてい

く、



ラック、スピーカー置台、デッキ
を加えたクリエイトーD7
(組合せ合計価格￥200,100)



毎月 1日、16日、発行

ピクター時報

日本ピクター株式会社 東京都中央区日本橋本町4-1
電話(241)7811郵便番号103
編集・広報室 発行人 松本 稔

<第178号>

3月16日(月)

販売体制さらに一步進む

独立会社の概要



博八(最優)長兼(新潟) 万円④三・六億円③(神奈川)
長②六千円④二・四億円 総社屋

△鶴岡ピクターラー

佐野博

明八(岡山)長兼(埼玉)

社屋

△二橋田

光昭

長②八千円④三・六億円

△(二橋田)

泰

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

工藤

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

三島

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

坂元

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

佐野

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)

光崎

長②六千円④三・六億円

△(二橋田)



Victor

DECOMAS

新ビクター マークを採用

4月
から

企業イメージの統一へ

「ビコマス」——なんのいふが
ビクターが行なつていねあらゆ
る企業活動での視覚表現、たとえ
「ビコマス」——これは、合成語で
Design Coordination

as a Management Strategy——
経営戦略のための
トガマス——といふ意味。

のビコマスが、会社創立五十
周年を機に、明年四月一日から三
年計画で順次実施される——しな
らあつた。

ビコマスの目的は、ふじふじで
いはがビクターマークや色の使い
方を統一する——によつて「企業
のイメージアップをより効果的に
推進するための基盤とする」もの
——じだ。

といふなわけです。
実施内容は基本的——はつものと
おりです。

①「犬のマーク」はカットのよ
うに周囲の丸をとり、新しい書
体のVICTORと一体で表示。

明年四月からは、これが「新しい
ビクターマーク」となるわけだ、
わけ。

当然「商標」として登録される。

②新マークは印刷物や商品の大

きな紙など、その使用形態に応じて三

つ

のタイプを設定し使いわける。

③社色(コーポレート・カラ

ー)としとは「ビクター・プラ

ク」「ビクター・オレンジ」を、

——などに表示されますが、運用

め、それぞれの適用範囲を設けて
使用する。

④国内では対象を限定し、新
規の社屋につけられる看板などで
マーケット「JVC NIVICO」
の連合表示を実施する。

ビコマス実施には、やり方によ
つてはかなりの費用を要するわ
け。

——正しい運用を——

①の新しいマークは、事務帳票
類、看板やネオン・社名などの標
識類、広報・広告物、販促物、商
品などに付属する説明書など、
はいきません。それが三年計画と
なったわけで、その間、従来のもの
との重複があることは避けられ
ませんが、マニフェアルにのつどつ
た新マークの正しい運用によつ
て、統一された企業イメージを確
立したいものです。(「ビコマス」
については、実施の時点でもわ
ります。

マス・ブザイン・マリトアル」や
「ビクター工業標準」(VITS)
にしたがつて行なわれるJVCは
ります。

◇ ◇

はお一部例外として四月以前に
実施されるものもあります。五十
二年一年間使われるカレンダー、

ビクター時報-8
発行月日：1976年
S51.12.1
発行NO.：194
面（頁）：1

タイトル
「デコマス 新ビク
ター マークを採用、
企業イメージの統一
へ」

記事内容
「創立50周年を機に
昭52.4月から犬マー
クは周囲の○を取つ
た新ロゴに変更」



レコード第三工場社屋



ポスターの例

「五年間にわたり
「経営戦略のためのデザイン統合、
デコマス実施、3年間ですべて切り替え」

ピクタービデオセンター

VIC

はなやかにオープン

盛り沢山の催事 展即会

さる十月十七日午後一時半、旧虎の門ショールームのピクタービデオセンター「VIC」が多数の報道関係者を招いてオープンしました。この日は、松野社長、徳光副社長が出席され、テープカットしました。松野社長は「ビデオの面白さ、便利さをたくさんの人に知っていただきたい」とあります。つづいて、VIC・小林セシタ・長が各コーナーの機材、機能を説明しました。

十七、十八の開館招待の兩日、

ア」を開催。

のべ四百人の評論家、マスコミ、ビデオ業界、企業関係者でにぎわいました。一部のご意見をうかがうと――

東映ビデオ・山下部長は「ビクタービデオは、VHS、倍速、カスラ商品は、VHS、倍速、カスラなど開発力は認めていましたが、販促面でここまで手を打つとは思いませんでした。こんなが楽しみですね。

株式新聞・小林記者は「ビクターの戦略拡大ですね。技術開発戦略から従来ビクターが弱いといわれていた販売戦略へ大きくひねり出している意欲がわかります。

評論家・原和正氏は「余暇開発センターからビデオについて答申を求められ提案したもののがまさにVICです。ビデオは単体ではなくシステムとしての展開が必要だということです。ターゲットをしっかりと決めているので設備としても立派ですね。

評論家・森口以佐夫氏は「ビデオの相談を受けた時、VICを「見えないといいますよ。これはビデオセンター」というより情報センターですね。

石川島播磨重工業広報室・幸田副部長は「へんぱらしい。これからのコミュニケーションは映像ツールによるものがポイントになります」と感じます。

VICはさる十九日から本格的

移動に入りました。二十三日の日曜日、VIC催事の一番手として、東京西ビクター（西村常務）では森みどりさん、あかはゆきさん、女子プロゴルフ

時代を先取りするピクタービデオセンターVICで活躍する十人のみなさん――

VIC 11人の顔



17日午後1時半、VICのテープカットする松野社長と徳光副社長

その1

ピクタービデオセンター

発行月日：1977年

S52.11.1

発行NO.：214

面（頁）：4-5

タイトル 「ピクタービデオセンター-VIC はなやかにオープン、盛り沢山の催事 展即会」

記事内容 「10/17、旧虎の門ショールームにVICがオープン、ビデオの面白さを知つてもらう」



Victor
56/3/16

毎月1日、16日発行

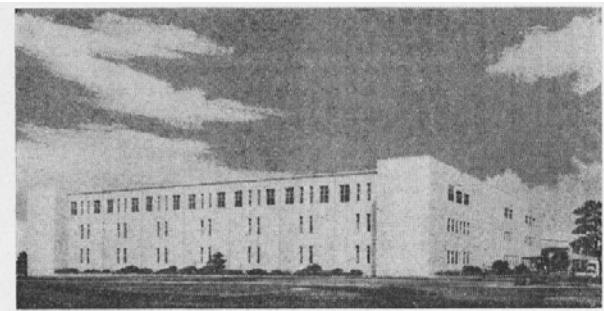
<287号>

ビクター時報

日本ビクター株式会社
東京都中央区日本橋本町4-1
電話 (241) 7811 郵便番号103
編集 広 報 室 印刷所 サンケイ総合印刷(株)



完成した水戸第三工場 (テープ事・室 木村さん提供)



九月竣工予定の岩井第三工場

拡大へ各部門がGO

岩井工場

百平超の本工場が竣工

まことに

年

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

度

一つの企業の、二つのマーク。

ビクターは、JVCの国内ブランドです。

海外旅行などの際、ご覧になつた方も多いと思います。JVCの三文字。蓄音機に耳を傾けたニッパーのマークで親しまれている私たち日本ビクターの海外ブランドです。「音のビクター」「ビデオのビクター」と、国内で私たちの技術に寄せられる信頼はそのまま海を越え、「ビデオのJVC」「オーディオのJVC」との声を世界各国で耳にするようになりました。欧米のエレクトリック・ストアでもJVCの商品が人気を集め、来日の折にはJVCマークを搜し求める外国人観光客も少なくありません。こんな流れを解消するためにも今日から私たちは、海外ブランドのJVCマークと、国内ブランドのニッパーマークを併記することとします。世界の人々が地球単位で対話し、生活し始めている今日、私たち日本ビクターに課せられた国際的な役割はますます大きなものとなつてきています。これを機会にさらにグローバルな企業として活動し続けます。



JVC

毎日の生活をより楽しくするための独創的な商品の開発と、新しい文化の提案。

これらすべてを満たさなければ、眞の国際企業とは呼べないと、日本ビクターは考へています。たとえば、私たちが一九七〇年代に開発したVHS方式ビデオ。その基本性能や信頼性の高さで国際的に大きな支持を受け、いまや世界の8割を占めようとしています。世界中のご家庭で私たちのビデオを楽しんでいただけたため、広く海外に輸出すると共に、現地生産会社をいち早く、西ドイツ、イギリスの会社と提携して設立。貿易摩擦が表面化した現在でも、その協調ぶりは世界のビジネスマンの注目を集めています。今後はVHDビデオディスクやAVパーソナルコンピューターなども、国内同様、普及に努めます。海外では日本企業の誇りを忘れずに、国内では常にインターナショナルな視野を持ちながら発展し続ける決意です。私たち日本ビクターの「先進の個性」にご期待ください。

JVCは、ビクターの海外ブランドです。

日本ビクター株式会社

ビクター時報-18

発行月日
: 1984年

S59.10.1

発行NO. :
359

面
(頁) : 8

タイトル
「一つの企業の二つのマーク、
VICTOR
(国内)
/JVC (海外)」

記事内容
「国内は犬のマーク；
VICTOR、海外はJVCで、
従来の
NIVICOを
外す、をアピール」

垣木専務が社長に

トップ人事を内定、発表



新社長に内定の垣木専務

四月二十二日に本社でひらかれた定時取締役会で、役員人事がつぎのように内定、発表されました。これは、六月十八日の株主総会後の取締役会で正式決定のはじとなります。

代表取締役会長
宍道一郎（現 社長）
代表取締役社長
垣木 邦夫（現 専務）

◇ ◇
発表は経団連会館と本社でそれぞれ行われました。合同記者会見の席上、松野会長、宍道社長は垣木専務を「百の理屈よりひとつ実行で、着実に仕事を進める人」「技術畠ながら経営感覚にすぐれ、次の時代の当社を背負ってもらえる」と報道陣に紹介、次期社長としておおきな期待をかけているむねを明らかにしました。

垣木専務は「会長、社長か
ら先週お話を受けたばかりでまだ気持ちの整理がついていないが、これまで会長、社長が築かれた路線に忠実に、人の和で企業の総合力を発揮してゆきたい、と思います」と話しました。

【垣木専務の略歴】二十三年四月入社、四十九年一月力ラーテレビ事業部長、同十一月取締役、五十三年六月に常務、五十五年六月専務、五十七年六月から代表取締役専務。東大第一工学部卒、六十一年。

ビクター時報-19
発行月日：1986年
S61.5.10

発行NO. : 391
面（頁） : 1

タイトル
「トップ人事を内定、
垣木専務が社長に」

記事内容

「4/22発表、宍道社長は会長に、松野会長は相談役に内定」

役員人事を内定

高野 専務が副社長、
金子取締役が常務など

日の予定です。

代表取締役副社長

高野 鎮雄(現 専務)

常務取締役

金子 勘作(現 取締役、
D事長)

【新任取締役】

町田 豊隆(現 理事、
テ研長)

会長、社長関係トップ人事
については本紙前号でお知ら
せしましたが、そのほかつき
ました。正式決定は六月十八



高野新副社長



金子新常務取締役

【新任監査役】

石井 正雄(現 取締役、
磁本長)

狩野	陽二	(同、営本長)
上野	吉弘	(同、ビ事長)
古市	敏朗	(同、人長)
光崎	親一	(同、テ事長)
坊上	卓郎	(同、才事長)



ビクター時報-22

発行月日
: 1990年
H2.5.10

発行NO. : 473

面 (頁) : 1

タイトル
「トップ人事を内定、垣木社長が会長、坊上副社長が社長に」

記事内容
「4/26発表、坊上副社長(平2年就任)が次期社長、高野副社長は監査役に」

トップ人事を内定

垣木社長が会長、 坊上副社長が社長に

四月二十六日の定時取締役会で役員人事が次のように内定し、即日発表されました。これは、六月二十八日の株主総会後の取締役会で正式決定のこぎとなります。

代表取締役会長

垣木 邦夫(現 社長)

代表取締役社長

坊上 卓郎(現副社長)

記者会見の席上、垣木社長

めるには若い人がよからう、
ということで坊上副社長にお
願いすることにしました」と
話しました。

また、坊上副社長は「三日
前の朝、垣木社長から直接お
表取締役専務、本年一月から
同副社長。電気通信大学電気
通信学部卒、五十四歳。

は質問に答えて「社長に就任
してから後継者ることはいつ
も考えていました。円高の時
代は経営も守りが中心で経験
豊かな人が適任ですが、世の中
が変わって攻めの経営を進
めるには若い人がよからう、
ということで坊上副社長にお
願いすることにしました」と
話しました。

【坊上副社長の略歴】三十
四年三月入社、五十三年六月
ラジオ録音機事業部長、六十
一年三月オーディオ事業部
長、同六月取締役、六十三年
六月に常務、平成元年六月代
同副社長。電気通信大学電気
通信学部卒、五十四歳。

話をいただいて、驚きの一言
です。当面、始まつたばかり
の社内運動に全力をあげ、会
社の成長性・収益性を高め働
く人に喜びが感じられる、い
きいきした企業にしていきた
いと考えています」と抱負を
語りました。

新会
社

「ビクターエンタテインメント」が発足

ビクターソフトグループの役員
中核企業・ビクター音楽産業
(株)とソフト専門の販売会社・
日本エイ・ブイ・シー(株)が四
月一日付で合併、総合ソフト
会社「ビクターエンタテイン
メント株式会社」として新た
にスタートしました。

新会社は、制作・販売の一
体化により最近の急激な経営
環境の変化に対応、優れたソ
フトの開発に取り組むとともに
に、従来、日本エイ・ブイ・
シー(株)が担当してきた販売受
託活動も継続して行います。

新会社の概要
社名 ビクターエンタテイン
メント(株)

監査役

売上高
(平成五年度見通し)
一一〇〇億円

本社 渋谷区神宮前4-26-1
18(前・音産本社)
六三億一〇〇〇万円

従業員数
約一〇〇〇人

会長 坊上 卓郎
専務 出口 順
社長 原田 一正
常務 須田 四郎
飯田 久彦
斎部政弘(非常
勤)、山口舜三、
金定辰介、大浦
賢三、樋口和
光、根岸幸夫、
本多慧、飯倉弘
次、鈴木満、大
泉武、大槻洋一
上川直利、須田
英昭(非常勤)、
久野義治(同)
田中啓介、金子
信一(非常勤)

ビクターニュース-24
発行月日: 1993年 H5.4.20
発行NO. : 531
面(頁) : 1

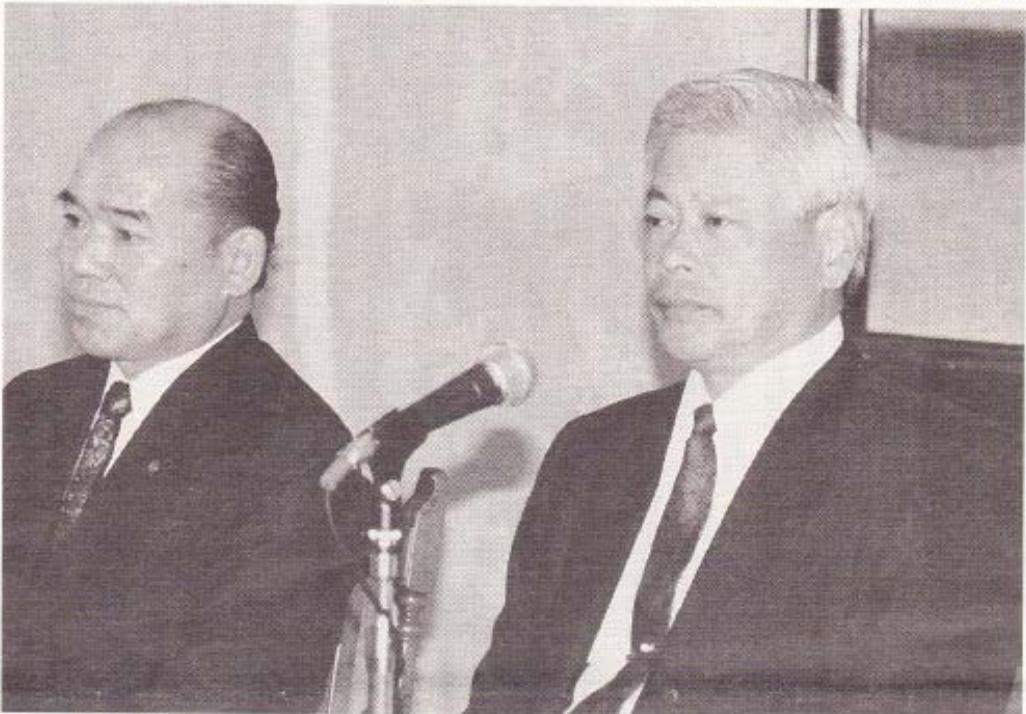
タイトル
「ビクターエンタテインメントが発足 (音産と日本AVCが4/1合併)」

記事内容
「制作、販売の一体化で環境変化に対応した総合ソフト会社としてスタート」

新経営体制決まる

しゅ すい たけ お

新社長に守隨武雄氏が内定



五月二十日、本社で開かれた臨時取締役会において、次期社長に松下電器産業株式会社取締役の守隨武雄(しゅずいたけお)氏の就任を内定、同日午後三時四十五分から東京・丸の内の東京会館で

記者会見が行われました。なお同席上で、坊上社長の取締役相談役への就任が併せて発表されました。また五月二十四日の決算発表時に、この他の役員人事の内定が発表されました。

〈役員異動・六月二十九日付予定〉



〈守隨武雄氏の略歴〉

昭和三十六年慶應大学法学部卒・松下電器産業入社、十五年コンフレッサー事業部力1エアコン部長、六十三年台湾松下電器総經理(社長)、平成四年松下電器アジア中近東本部長、五年取締役就任、中国本部長を兼務

新任取締役	守隨	武雄	取締役	菊池	斎部
取締役	海老	泰	取締役	敏博	敏博
新任監査役	光崎	親一	常勤監査役	原田	政弘
常勤監査役	菊池	同	同	池田	正靖
非常勤監査役	川上	敏也	代表取締役常務取締役	原田	孝
退任取締役	光崎	親一	代表取締役社長	守隨	武雄
代表取締役常務取締役	菊池	敏也	取締役相談役	坊上	阜郎
代表取締役及び役付取締役選任	同	同	同	同	同

これらの役員人事は、六月二十九日に開催される定期株主総会後の取締役会で正式に決定される予定です。

ビクターニュース-25
発行月日
: 1994年
H6.6.1
発行NO. : 545
面(頁) : 1

タイトル
「新経営体制決まる、新社長に
守隨武雄氏が内定」

記事内容
「5/24発表、次
期社長に守隨氏
(松下取締役)、
坊上社長は相談
役に」

70周年記念事業の社内向け企画である「社員参加型のイベント」は、ここに特集で紹介する『5つのテーマ別イベント』です。詳しい内容については、今号「折り込みチラシ」や「社内掲示ポスター」、または各イベント運営事務局までお問い合わせください。



あなたのイマジネーションをカタチに! 「PRODUCE YOUR IMAGINATION」コンテスト

ビクター2002年発想コンテスト

創立75周年、2002年のビクターの姿
どんな会社に?自由なイメージを!

◆創立75周年の2002年に、ビクターがどんな会社になっているか、どんな商品が、どんなビジネスが?く例!商品/新たな事業/メセナ活動/広告/インターネットビジネス/介護型AVシアター/リサイクルシステム等★「びっくり!ふえすと」の提出アイデアも重複可応募規定/A4(0.3)1枚、イラスト/チャート/説明文作品の裏に応募用紙を貼り送付。1人何件でも可。■審査/社内外スタッフ。可能なアイデアは活用。■募集期間/7/15~10/15 ■発表/98年3月 ■賞金/金賞20万円、銀賞15万円、銅賞10万円 他
く問合せ>V70事務局 8-40-3442 045-450-1662

インターネット・ホームページ・コンテスト

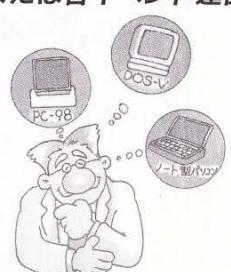
あなたの作ったホームページを募集
新しさ・面白さ・企画力・デザイン

◆インターネットは会社でも家庭でも、今や広く普及しています。また自分のホームページを開設している人は、社内でも多く見られます。これは皆さんからホームページを応募いただくコンテストです。■応募規定/個人でも団体でも可。自作によるもの。内容はフリーピーディスク1枚に収めて送付。■審査/社内外スタッフ■募集期間/7/15~12/15 ■発表/98年3月 ■賞金/金賞10万円、銀賞5万円、銅賞2万円 他
<く問合せ>(情配)二松まで8-71-219(溜池ビル)03-5563-1255 Eメール futamatu@y.h.jvc-victor.co.jp ■折込チラシ訂正:募集期間7/15~10/15 7/15~12/15

デスクトップ・ミュージック・コンテスト

コンピューター(MIDI)で創った曲
オリジナルでもカバーでもOK!

◆ビクターには音楽人間がたくさんいます。最近は楽器がなくても、MIDI打ち込みで楽しんでいる人も。これは、オリジナルでもカバーでも、コンピューターを使って創った曲のコンテストです。■応募規定/オリジナル、カバーは問わず。オーディオカセット(ハイポジ)、DAT、MDで応募時間:3分以内。(MIDIデータのみは不可)■審査/オリジナルアレンジなど審査基準。(予定)VEのディレクター、他に社内関係審査員。■募集期間/7/15~10/15 ■発表/11/15 VCMギネス ■賞金/金賞10万円、銀賞5万円、銅賞2万円 他
<く問合せ>(情配)8-71-215 03-5563-1255



楽しい作品、待っています

ビクター社内ビデオコンテスト

<東京ビデオフェスティバル・第20回記念>

◆V70に機に、社員のビデオ作品を国内外から広く募集。またDV1を多くの社員が体験してもらお。■応募規定/題材自由(身近な出来事、話題、おもしろ表現など)作品はVHS各規格、Mini DV、プリントアウト、FDなど素材がビデオ映像。時間20分以内。短編も大歓迎。応募促進「DV1貸出し」あり。■審査/社内ビデオコンテスト実行委員会、小林はくどう氏■募集期間/7/15~10/15 ■発表/TVF連動 ■賞/グランプリ:1点(権・海外旅行アワードまたはDV1式)優秀賞:2点(権・国内旅行アベア)活動奨励賞:7点(権・ディナーベアまたはゴルフベア)参加賞:全員(テレカ)く問合せ>(広)東京ビデオフェスティバル事務局 8-37-2249 03-3289-2815

応募作品は今年20回を迎える東京ビデオフェスティバルにもすべて参加登録されます。



気軽に撮って、
気軽に応募して!



あなたはいくつ参加? 全員でチャレンジしましよう!

70
1997
The 70th Anniversary

V-70
社員参画
イベント

「創立70周年記念事業」は、4月の映画事業発表会を皮切りに、各営業本部、地域本部や関連事業部門により、展示会・商談会など新たな企画による对外的イベントが国内外の各地で展開されています。

一方、従業員や家族など社内の社員参加のイベントも、ここにお知らせする5つの企画によって実施されます。皆さんの積極的な参加で、V70を大きく盛り上げましょう。

「ベネフィット」入会キャンペーン

全社員に「デリバネットカード」プレゼント!

あなたも「ベネフィット会員」に。

入会金・会費は無料、さらに豪華な特典も

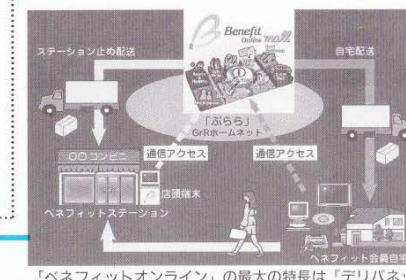
◆今年2月に設立されたネットワークサービス会社「株式会社ベネフィットオンライン」は、7月から新物流システム「デリバネット」をスタート。今後、北海道地区から順次、全国規模へと拡大していきます。◆この「デリバネット」は、新しい物流システムとして各方面から多くの関心を集めています。今後も多くの会員を集め、V70記念行事の一環として「デリバネット会員カード」をプレゼント!ぜひこの機会に、ご体験・ご利用ください。

◆ベネフィットオンライン
(デリバネット/デリバネットメイト) 入会特典

★特典1 ベネフィットバーチャルショッピングでDVを貰うと20%割引(11~12月)

★特典2 希望者に、通販会社の最新カタログ贈呈(1月初旬予定。通販会社は現在選定中)

★特典3 抽選で、DV-DVDパソコン1台プレゼント(特に通信端末のない方にも大チャンス)



「ベネフィットオンライン」の最大の特長は「デリバネットサービス」。これは購入した商品を「身近なお店で、好きな時間に、商品を受け取る」というシステムです。

買物便利なベネフィット。話題の映画すぐ見てね。

どちらも
ビッグ・プレゼント

このチャンスをゲットしよう!

「フィフス・エレメント」大ヒットキャンペーン

前売りチケット大量販売 & 公開初期大動員を!

◆70周年記念作品「フィフス・エレメント」の大ヒットを狙い、全社的なキャンペーンを展開します。全社員の皆さんとの協力ををお願いいたします。

- 対象/ビクター社員
- 実施方法/前売りチケットをご購入いただき、できるだけ早く映画を見にいってください。(公開初期の動員数でその後の上映期間が決まる) 入場時の「半券」を応募用紙に貼り、送付。
- 応募締切/10/20 (ソマ) 到着分
- 賞/特等: 50万円相当70周年記念商品、1等: 20万円相当、2等: 5万円相当、ソリティア他多数



あなたが現在または今後、パソコンの有無により「デリバネット会員」「デリバネットメイト会員」のどちらかを選択してください。

- ①現在、持っている方 →「デリバネット会員」に
 - ②今後、購入予定の方 →「デリバネット会員」に
 - ③今後も持たない方 →「デリバネットメイト会員」に
 - 「デリバネット会員」は自動的に「ぶらら」会員に登録されます。「ぶらら」も入会金など一切なし。
- ★詳しい内容は、後日ご案内します。

ビクター商品お買上げの方に
抽選で5000組、1000名が招待

●営業本部では、期間中ビクター商品5万円以上お買上げの方に抽選で「フィフス・エレメント」「ペアチケットプレゼント」を実施しています。

■期間: 7/1~8/31
(第1回締切8/1、第2回締切8/1)

(営業)では「ペアチケットプレゼント」実施中



リュック・ベッソン監督



1959年パリ生まれ。84年「サブウェイ」でセザール賞獲得。以来「グラン・ブルー」「ニキータ」「レオン」と次々に大ヒット。世界中の熱い支持を得ている。

アズ・エレメント

70周年
記念作品

9月13日(土)<超拡大>ロードショー
全国松竹・東急洋画系にて

「グラン・ブルー」「レオン」と全世界の若者たちの心をときめかせた今世界最大の映像作家リュック・ベッソンが新たに挑んだ主題は人類の愛と知をかけた未来へのメッセージである。

舞台は、23世紀のニューヨーク 地球を壊滅するのに充分なエネルギーをもった巨大な生命体が接近している このままいくと地球と全面衝突し、地球が滅するかもしれないという危機を孕んでいた中、もと連邦特殊部隊の隊員コーン(ブルース・ウィリス)が運転するタクシーに正体不明の何かが突然飛び込んできた。その瞬間、コーンは地球存亡の鍵を握る大きな事件に巻き込まれる事になったのである。

製作費100億を超え、SFXを全米SFX産業界の頂点に立つデジタル・ドメインが全面担当し、イギリス・パインウッド・スタジオ史上最大の舞台セットで撮影された超話題作である。

主演は、ハリウッドきってのアクション・スター、ブルース・ウィリス、ベッソンとブルースの組み合わせで見るアクション・シーンは一体どこまで凄いのか。地球滅亡の混亂に乗じて陰謀を企むゾークに「レオン」以来ベッソンに惚れ込んだという個性派俳優ゲイリー・オールドマン、全ての鍵を握るヒロインには、トップモデルとして活躍中の新星ミラ・ジョヴォヴィッチが当たる。

音楽を担当するのは、これまたベッソン映画には欠かせない才能あるエリック・セラ、彼の創作する未来のオペラ、映画音楽芸術の極致といってよい。

衣装デザインがファッション界のスーパースター、ジャンボル・ゴルチエであることも大きな話題である。

SFX監修は、デジタル・ドメインで「アーロン13」を手がけたマーク・ステットソンと彼と彼の率いる総勢170名のスタッフが最新テクノロジーの粋を極めた映像を創り上げている。

今年50周年を迎えた、5月7日のカンヌ国際映画祭の栄えあるオーフニング作品として上映されたことからも、「フィフス・エレメント」に寄せられた世界の映画人たちの期待の大きさがうかがえ、このニュースが全世界に発信されたことで、今までに「フィフス・エレメント」は世界規模の注目を集めている。

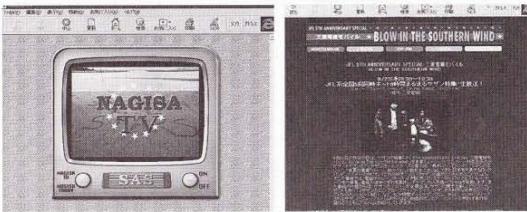
既にアメリカ、フランスでは日本にさきがけ公開されているが、全米では2週連続NO.1。フランスでは公開5日間で156万人を動員する驚くべき大ヒットを記録している。

〈特集のページ〉

グローバルに拡がったインターネットは、Eメールをはじめビジネスや日常生活で幅広い活用が見られます。こうした中、ホームページはマルチメディア時代の広告メディアとして、さまざまな利用の仕方が活発化。ビクターのホームページも95年開設以来、次第に内容も充実してきており、一方、JVCグループでも独自のホームページを開設しているところも多く見られます。

そこで今回は、ビクターのホームページを中心にお見せします。

(VE)サザンオールスターズのホームページ コンサートやFM局リクエストも



「NAGISATV」サザンのコンサート

●8/6-9、浜名湖畔「渚園」で行われた大イベントの模様を、「インターネット」と「映像」2つの世界で、電話・FAX・インターネットでのリクエスト大特集。
●この番組はJFL系5局をネットで結ぶ初の試みで、全国からリクエストが殺到。インターネットではサザンのオフィシャルホームページで募集し、900件余りの応募がありました。
●9月の企業イメージ調査では1万件の回答があり、貴重な意見も寄せられました。これら多数の意見は、商品開発から販売まで、さらに企業イメージ向上に活用できます。これからもマーケティングツールとして積極的な活用を進めていきます。

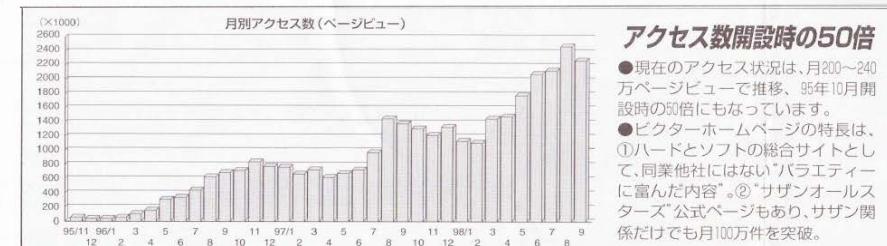
JFL5局ネット・サザン電リク

●9/23の9:30から9時間特番で電話・FAX・インターネットでのリクエスト大特集。
●この番組はJFL系5局をネットで結ぶ初の試みで、全国からリクエストが殺到。インターネットではサザンのオフィシャルホームページで募集し、900件余りの応募がありました。
●13~17時はメンバー6人も生出演、10/21発売のニューアルバム「さくら」から数曲の新曲をオンエア。17時からはリクエスト集計・発表を行い、ホームページでも結果発表しました。



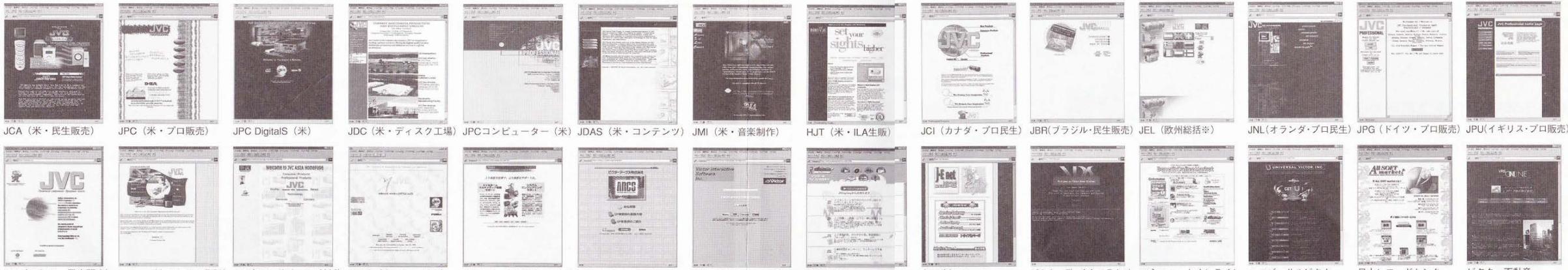
〈東京ビデオフェスティバル〉 ライブや入賞作紹介

●東京ビデオフェスティバル(TVF)でもインターネットは大活躍。昨年からは発表会ライブ中継や作品紹介を行い、アクセス数も急増中。
●最近では、海外からの応募要項請求や問い合わせにEメールが大活躍。応募者もEメールアドレス所有が多数、受発信も便利になりました。



JVCグループ ホームページ

◆国内関連会社や世界各の現地・代理店で開設のホームページをここに紹介します。
(一部画面が隠す複数であります)



Spitzer (スイス代理店)

JIN (ロシア・民生販売)

Hagemeyer (オーストラリア・代理店)

JAS (シンガポール・統括)

JSCA (米・サービス)

ビクターサービスエンジニアリング

ビクター・アーツ

ビクターライクティ・ソフトウェア (情報推) King Tong!

(MS事) j E-net

ビクターデータシステムズ

ベネフィットオンライン

ユニバーサルビクター

日本レコードセンター

ビクター不動産

●JVCグループ・インターネット・ホームページ●

グローバルに拡がるJVCグループのホームページ

現状のビクターホームページは

<http://www.jvc-victor.co.jp/>



マーケティング 活動紹介

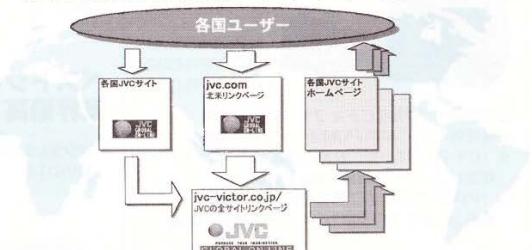
“早く、多く、安く、簡単” インターネットでユーザー調査

ワールドカップスポンサー認知度

被取組	被取組日	回答期間	有効回答者数
毎日新聞夕刊	6月13日(土)	6/13~6/18	13672
毎日新聞夕刊	6月20日(月)	6/20~6/25	14515
毎日新聞夕刊	7月13日(月)	7/13~7/18	81165
合計			26426

Q1 日本ビクターがワールドカップの公式スポンサーである事をご存知ですか?	
是	95%
否	5%
合計	100%
Q2 「JVC」が日本ビクターがワールドカップだと知っていましたか?	100%
是	95%
否	5%
合計	100%

JVCグローバルオンラインによる各國ホームページへのハイバーリンク



JVCグローバル・オンライン

JVCの見たい所をグローバルにネットサーフできます

●現在、国内はもとより海外でも13ヵ国、24の現地、代理店、関連会社がホームページを開設。こうしたJVCのホームページを見たいお客様が簡単にネットサーフ出来るように、JVCサイトの「グローバルオンライン化」を図っています。
●これは各国のサイトから、JVCグローバルオンラインのページにリンクを張っていただくと共に、グローバルページには各国のJVCホームページへリンクが張られています。
●また最初にクリックされる可能性が高い「www.jvc.com」は、世界の入口の役割が大きく、そのためJVCグローバルページや北米のサイトへのリンクページとなっています。



この秋から リニューアル

トップページも“秋”になりました

●10/5から「トップページが秋のイメージ」に変わりました。(紅葉をイメージ)
●上期中は、W杯サッカーを中心に、情報公開として「業績報告」やV70社史をベースにした「70年の歩み」を新たに企画、発信。
●この下期は、営業本部の年末商戦キャンペーン「デジタルスペースフェア」を大いに盛り上げる企画やさまざまな情報を発信していきます。

◆今後の予定◆
<10月>・トップページ
“秋バージョン”
●エレクション出展案内
●フラットTV8機種
<11月>
●環境への取組み
●年末商戦キャンペーン
<12月>・トップページ
“冬バージョン”
●TVFノミネート作品

●ピクターホームページに関するお問い合わせは、(広)インタGまで。

●内) 8-40-3431
(外) 045-450-1791
E-mail webmaster@jvc-victor.co.jp

●10月開催のエレクションに照準を合わせ、関係部門の協力により、10/17より初の「ホームページ」立ち上げ

●スタート当初は担当部門なく、ボランティアで運営

◇アクセス数:月4万件

●ホームページ運営グループ発足: (MM推) インタG

●各部門への活用と拡大、展開

●「菅野美穂のページ」新設

●年末プレゼントクイズ実施

◇アクセス数:月50万件

●ユーザーメール対応システム化と窓口担当者を設置

●「松本恵のページ」新設

●朝日デジタル広告賞入賞

●「動くカタログページ」新設

◇アクセス数:月100万件突破

●インタG、広報室へ移管。

●「W杯(ワールドカップ)のページ」新設。

●海外現地・代理店のホームページのグローバルリンク化

●企業情報公開(株主資料)

●新聞企業広告アンケート

●企業イメージ調査

◇アクセス数:月200万突破

2000年 経営スローガン

CREATE OUR TIMES

－新たな道を拓く－

2000年 経営スローガン CREATE OUR TIMES －新たな道を拓く－

目指せ！スピード経営

経営改革の総仕上げ

2000年経営方針(1/25号)の中で明らかにされたように、攻めへの体制改革として4月1日付で「カンパニー制」を導入します。このたびカンパニーに移行するのは、国内事業本部の事業カンパニー4社と海外地域本部の地域カンパニー3社の計7社です。[右記参照。日本、中国本は導入に向け検討中]

次の成長へ向け全社的な体質強化を

デジタル&ネットワーク時代の中で、これらに対応した事業分野強化のために従来の枠を超えた新たな組織運営・経営体制への転換が不可欠です。つまり責任ある意思決定とスピード経営による実行力が求められています。今回は経営改革の総仕上げであり、次の成長への全社的体質改革としての狙いもあります。

現在、当該事業部門や地域カンパニーでは大詰めの準備作業が進められています。同時に本社及び本社関連部門では、グループ戦略や次世代事業推進のための機能見直し・スリム化を実行。研究開発体制では、事業化スピードアップと開発効率化に向け、「コーポレート・ラボ」としての(技開本)の体制見直しを行い、カンパニーが実行すべき開発テーマとリソースの移管を行ないます。

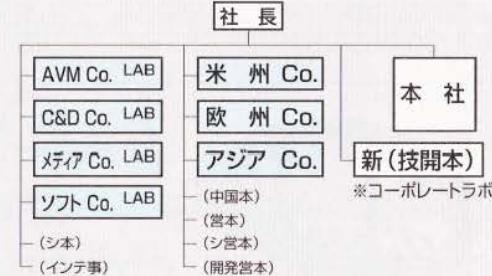
今回は、本社、カンパニーの責任・権限を中心的基本的考え方を右記にまとめましたが、●次回で「Q&A形式のカンパニー制」特集予定。

4月から7つのカンパニー発足

カンパニー制導入の狙い

- ①権限移譲と責任明確化
- ②強みと独自性発揮の体制
- ③顧客視点での「マ・開・生・販・CS」のトータル戦略

<4/1付 カンパニー組織>



本社・カンパニーの責任・権限

<責任>

経営トップ (株主・取引先・従業員・社会などへの責任)

- 企業価値の最大化 (収益と成長性)
- 経営の透明性確保

本社

- 経営トップの意思決定サポート
- 新規分野開拓
- 次世代基盤技術の開発
- カンパニーの業務支援

事業カンパニー

- カンパニー内の連絡経営責任
- 商品別市場責任 (価格・品質・シェア)
- 独立会社のような経営ユニットで運営

地域カンパニー

- 傘下販社との連絡経営責任
- 市場責任 (売上・シェア・ブランド)
- 新市場開拓責任 (民生・プロ・C&D)

<機能・権限>

■ グループ経営の推進

○コーポレートガバナンス
[経営理念・方針の徹底／経営の仕組み改進／経営体制の再編／経営情報インフラ／基幹人材の人事／経営監査／IR]

○グループ戦略経営推進
[資源配分と分社間調整／事業再編／投資戦略／コーポレートR&D／全社プロジェクト推進／戦略的提携／ブランド戦略]

○グループ連結事計管理
[全社・カンパニー中期・事計策定・承認／中期・事計進捗管理・支援]

■ 新規事業分野の開拓

■ 次世代基盤技術開発

■ 機能別サービス責任

[専門的業務・情報の提供／業務を通じた事業支援]

■ カンパニー事業推進

[事業の選択と集中／組織再編／カンパニー内人事権／経営資源配分／傘下事業所への示達・管理／投資権限]

■ 地域戦略の推進

[市場の選択と集中／組織再編／地域販社の人事権／経営資源再配分／地域販社への示達・管理／投資権限]

■ 関係会社の経営フォロー

1/29、横浜5ビルでAV評論家の麻倉怜士氏を招いて、「21世紀のビクターの進路」というテーマで講演会(主催:AVM-C)が行われました。この中で現状の課題が厳しく指摘され、謙虚な反省と共に今後の方向に有益な助言や激励がありました。[以下、概要を抜粋]



(AVM-C)の他に本社関係者も含め約60名が参加



1950年生まれ。横浜市立大卒。日本経済新聞社を経て、プレジデント社で雑誌プレジデント副編集長など歴任。91年、AV&M評論家として独立。専門誌など執筆、著書も多数。

■業界の流れを敏感に、他社からも学べ

◇世界はここへ行く、3つのセントリック(中心トレンド)として、ネットワーク～プロードバンドの流れ(送信技術／受信技術)②パッケージ～パッケージの流通(互換性)③デバイス～デバイスに付加価値つけるという流れ。
◇デジタルの2面性を考え、大量・普遍・均一に対する個性・違い・魅力をポイントに、幸せのデジタルを選択する。
◇他山の石～①AIWAの教訓(価格優先の政策)②バイオニアの評価(DVD-RWでフォーマット作り、スピードの威力、こだわりと志)③SONYに学ぶ(トップのリーダーシップ、横断組織の威力)④シャープのダイナミズム(デバイスを柱に展開、オーディオ再興、プロジェクト重視)⑤韓国

■デジタル時代のキーワード

◇これからデジタル時代は、「感動」と「便利」をいかに追求していくかがカギ。そのための注目すべき技術は、「圧縮」と「解凍」のインターフェース技術である。

■今後のビクターは、迷いがある

◇ビクターは今、ちょっと迷っているのではないか。特にここ数年間は骨太さが感じられず、新しい時代へのバラ

ダイム変化が形として見えてこない。

◇人々の最大限の感動を伝えるユーザーインターフェースが本当に出来るのは、ビクターとソニーだけ。特にビクターの強みは「人を感動させる力」があるので、ここを再認識し、ぜひ新しい価値を創り出して欲しい。

◇D&N時代のAVは、PCネットワークがAV化していく流れ。そこで差別化を考え、コンテンツ加工はクリエイターと一緒にやっていくなどして、再チャレンジを。

◇ビクターに期待することは、弱さ(ネットワークなど)を補強し、社内外での連携を強化。今までやってきたことを生かすと共に、新しい技術に積極的に取り組むこと。

麻倉怜士氏 講演会 「21世紀のビクターの進路」

ビクターの強みは「人を感動させる力」

の開発力(世界初連発、液晶・PDP、DVD展開、徹底した物作り)

■ビクターが抱える課題を直視せよ

◇自信不足(人も会社も)、古いイメージ、デザイン・品質の悪循環、新規分野に成長商品不足、提案少ない。

◇製品の問題～ビデオ・ムービーでリーダーシップ不足、ホームシアターの強化、テレビは画質の強みを生かせ。

◇なぜ、そうなったか?～延長の発想、メリハリをはっきり(ズルズルはダメ)、全てに保守的、殻から出ない、融合不発(社内外での連携が下手)、リーダーシップ見えない。

■これから何をなすべきか

◇もし、ビクターがなくなったら?～画質・音質にこだわる

文化の喪失(文化をなくしてはいけない、社会的問題)、ユーザーの不幸(感動的な幸せが得られなくなる)

◇今後の課題は、モノ作りの復活、個人のこだわり、しなやかな発想、メーカーの誇り、製品・ブランドの魅力。情報力・情緒力で人間の本性に根ざしたモノ作りを。

◇ネットワークへの進出～外部/製品の接続、新提案

◇デバイス開発～D-LAは試金石、新デジタルプロセス

■2001年、デジタルAVの方向性

◇AVはITを求める、ITはAVを求める。(AV: クオリティー、IT: 利便性にこだわり)、ITからETへ(Emotional Technology)、パッシブ(受信)からクリエイティブ(発信)へ。

[詳細の問合せ: AVM-CC(新橋)8-37-2270, 03-3289-2810]

ビクターニュース-29

発行月日: 2001年

H13.2.15

発行NO. : 664

面 (頁) : 2

タイトル

「麻倉怜士氏講演会 ビクターの強みは「人を感動させる力」」

記事内容

「1/29、21世紀のビクターの進路のテーマで現状の課題と今後の方向性を示唆」

2001/5/15 No.667

日本ビクター・社内報(月1回発行) 日本ビクター株式会社(CC)広報室 発行責任者/一條 裕
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12 ☎ 045-450-1493 Fax 045-450-1498 印刷/ビクター興産株プリント部

2001年 経営スローガン Take This Chance!

新たな経営体制決まる

次期社長に寺田顧問が内定 守隨社長は顧問に就任予定

ビクター
ニュース-
30

発行月日
: 2001年
H13.5.15

発NO. :
667

面(頁)
: 1

タイトル
「新たな
経営体制
決まる、
次期社長
に寺田顧
問が内
定」

記事内容
「4/26
発表、次
期社長に
寺田顧問
(平12
就任)、
守隨社長
は顧問
に」

4/26に開かれた取締役会で、次期社長に寺田顧問の就任及び新たな経営陣が内定し、同日午後3時30分より東京・丸の内のパレスホテルで記者会見が行われました。

また同取締役会で、2000年度の連結決算が承認され、同日午後、外部発表されました。併せて、次期社長を含む役員人事の内定も発表されました。

さらに決算の外部発表に統一して、同日午後4時から別会場で投資家向け決算IR説明会を開催。会田常務から2000年度決算概要と経営の現況及び今後の取り組みと2001年度業績見通しなど詳細な説明が行われました。

■4/26の社長記者会見

4/26は各社の決算発表が相次ぐ中、当社の社長記者会見が新聞、業界誌、雑誌など各方面から約50名の記者を集めて行われました。冒頭、守隨社長から今回の内定した役員人事、役員異動と若返りを図った新しい経営体制の紹介があり、統一して寺田顧問からは「与えられた使命を精一杯全うする所存です」と決意を込めた挨拶がありました。

その後の質疑では、多くの記者からさまざまな質問が出されました。守隨社長に対しては、退任の決意や背景などについての質問があり、守隨社長から「3期連続赤字や役職者早期退職など一連の人員削減に対する経営責任を感じ、退任を決意した。経営改革は道半ばながらも、全社員の努力で何とか黒字化の緒についた。これを機に新しい経営陣に道を譲り、またけじめをつけるという意味から、顧問に就任することにした」との話がありました。

また寺田顧問には、ビクターの印象や仕事の考え方などについての質問が出され、「昨年10月に顧問に就任し、松下との協業や創生21計画策定という2つのプロジェクト担当の責任者として取り組んできた。ビクターは新技術開発や独創性をDNAとして持っており、今後は部品やソフトも含め、これらの経営資源をシステム化すれば、バリューチェーンで収益につながるリズムが出てくると感じた」との話がありました。



4/26、記者会見する守隨社長(左)と次期社長に内定の寺田顧問(右)



【寺田雅彦氏略歴】

- 昭19.11.7生／和歌山県出身／56才
- 昭44年:慶應大経済学部卒、松下電器㈱入社。その後、松下電池㈱を経て、松下電子工業㈱照明社社長
- 平11年:松下電器㈱理事
- 平12年:松下電器㈱参与

日本ビクター顧問

◆役員人事◆ (6/28付予定)

1.新任取締役候補者

- | | |
|--------|--|
| 寺田 雅彦 | (現) 顧問 [当社 代表取締役社長に就任予定] |
| 山口 南海夫 | (現) 松下電器産業㈱ システムソリューション事業本部 副本部長 事業担当 [当社 代表取締役専務取締役に就任予定] |
| 谷井 幸洋 | (現) 監査役 |
| 武藤 勝久 | (現) 理事 AV&マルチメディアカンパニー グローバル事業推進部長 |
| 柏木 哲男 | (現) 理事 コンポーネント&デバイスカンパニー 副社長 兼 同カンパニーーカーキット事業部長 |
| 藤澤 宏 | (現) 理事メディアカンパニー(二社長) |
| 本田 豊晴 | (現) 理事システムネットワーク事業本部長 |

2.新任監査役候補者

- | | |
|-------|---|
| 喜志 房雄 | (現) 取締役 IT事業推進室長 兼 環境担当 |
| | なお、喜志氏は常勤の監査役に就任の予定。 |
| 梶野 二郎 | (現) 松下電器産業㈱ AVC社 AVC R&Dグループ長 兼 常勤の監査役に就任の予定。 |

3.退任予定取締役

- | | |
|------------|--|
| 代表取締役社長 | 守隨 武雄 [当社 顧問に就任予定] |
| 代表取締役専務取締役 | 佐々木弘忠 [当社 顧問に就任予定] |
| 代表取締役専務取締役 | 清水 宏紀 [当社 顧問に就任予定] |
| 代表取締役常務取締役 | 海老 泰 [当社 参与ビクター・データ・システムズ代表取締役社長に就任予定] |
| 取締役 | 喜志 房雄 [当社 監査役(常勤)に就任予定] |

4.退任予定監査役

- | | |
|----------|---------------------|
| 監査役(常勤) | 星野 将 [当社 顧問に就任予定] |
| 監査役(非常勤) | 谷井 幸洋 [当社 取締役に就任予定] |

5.役付取締役選任内定

- | | |
|------------|----------------------|
| 代表取締役専務取締役 | 山内 尚人 [現 代表取締役常務取締役] |
| 代表取締役専務取締役 | 高島 雄一 [現 常務取締役] |
| 常務取締役 | 土屋 栄一 [現 取締役] |
| 常務取締役 | 土谷 繁晴 [現 取締役] |

▶これらの役員人事は6/28に開催される株主総会後の取締役会で正式に決定されます。

【追加】

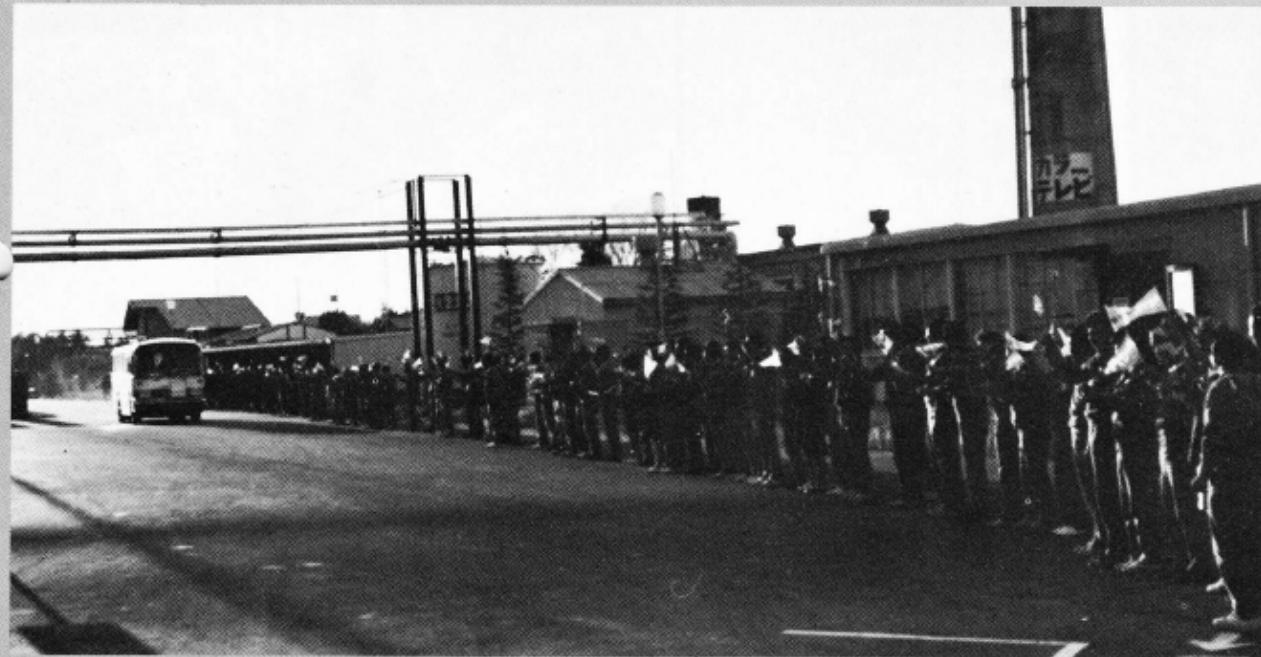
高柳先生・高野さん

NO.	西暦	年 月 日	発行 NO.	面(頁)	タ イ ル
<追加> 高柳先生関係					
1	1973	大和 S48.2	226	ケラビア	「良い商品は良い人間が作る」 中国電視工業考察団も感心
2	1980	S55. 8.10	274	7	高柳先生をたたえ旧浜松高工(現静岡大学工学部)跡に記念碑
3	1986	S61.11. 1	401	6	経営者、大学教授のみなさんに高柳先生が講演
4	1987	S62. 8.10	416	1	高柳健次郎先生がアラバマ大学特別名誉教授に
5	2003	H15. 1. 9	688	4	テレビ放送開始に挑んだ技術者たちの物語(NHK「プロジェクトX」収録)
6	2003	H15. 2.15	690	8	高柳イズムを見つめ直す絶好の機会!「燃える魂」序編の必読を

<追加> 高野さん関係					
1	1974	S49. 2.16	123	1	「価値あるビデオに」業界初ビデオ紙合同記者会見 (高野(ビ事)長)
2	1979	S54.10.16	257	4-5	従来のからを超えた意識改革と構造改革、ビデオに新たな目標を
3	1992	H 4. 1.25	506	2	高野常任監査役が死去、VHSの事業化に不滅の功績
4	1992	H 4. 3. 1	508	2	VHSの父に最後のお別れ、高野常任監査役社葬に1400人
5	1992	H 4. 3.16	509	2	故・高野常任監査役に従五位勲3等瑞宝章授与
6	2000	H12. 3.25	651	4	「プロジェクトX」放送日4/4、執念の逆転劇・VHSビデオの誕生
7	2000	H12. 4.15	652	12	「プロジェクトX」大反響! 速報 (社外/社内の視聴後感想)
8	2000	H12. 5.15	653	8	「プロジェクトX」大反響! 続報(前号に続き)、ビクターファンになりました
9	2002	H14. 6.15	681	3	映画「陽はまた昇る」いよいよ6/15全国公開、感動の輪を広げよう

●写真上は岩井工場のみなさんが見送る中を
一行は帰路につきました。日中両国的小旗
の波に、バスの中からいつまでも手を振る
姿が印象的でした

●写真下はかずかずの実験をとり入れてのわ
が社技術説明会



その1

高柳先生-1 大和 発行月日：1973年
S48.2発行NO. : 226 面（頁）：グランピア



タイトル 「「よい商品はよい人間がつくる」中国電視工業考察団も感心」
記事内容 「昭47.11 中国テレビ工業視察団が岩井工場見学、高柳副社長も工程説明」

「よい商品は、よい職場環境と人間から生まれる」ことを目的とした人間形成プロジェクト・チームの活動は、視察団のみなさんに高い関心をもたらしました。



「工程上の品質のチェックポイントがはっきりしていますね。高品質の商品をつくっていることがわかります」——背の高い人が部屋団長



わが社独自の基板作成ラインはとくに注目を集め、高柳副社長の説明に、現物を手にとつて熱心なまなざし



工程説明は、日中英の三か国語です

わが国のテレビ工業を視察のため、昨年の十一月二十九日に来日した中国電視工業考察団（テレビ工業視察団の意味）は、一月十二日にわが社のカラーテレビ事業部岩井工場を訪問、視察されました。視察団のみなさんは、ほとんどが電子工業の技術者であり、生産設備や生産状況について係員にするとい質問をあびせる熱のこもつた光景があちこちでみられました。とくに視察団を感心させたのは、岩井工場の人間形成プロジェクト・チームの活動ぶりでした。みなし運動や職場の歌づくり、その他かずかずの独自な活動が人間形成に大きな効果を上げていることを知つて、視察団のみなさんは、「いろいろな工場を訪問したけれども、よい商品はよい人間がつくる」ということを説明してくれたのはピクターだけです」と感心されました。

夕刻、帰路につかれたみなさんは、バスの中からつまでも手をふり、岩井工場視察に好印象を残していただけたのでした（くわしくは「ピクター時報」1/16号）。



ひとつひとつ熱心にメモされ、するどい質問がとび出し、係員も緊張します

高柳先生をたたえ

テレビの父

旧浜松高工あとに記念碑

今から約五十年前、高柳健次郎先生とその研究グループが旧浜松高等工業学校（現静大工学部）で

日本で初めてプラウン管式テレビの送受信実験に成功しました。これを記念する碑の建立が同校関係者の手で、同校跡地の浜松市広沢一丁目、西部公民館に進められていましたが、このほど完成し、七

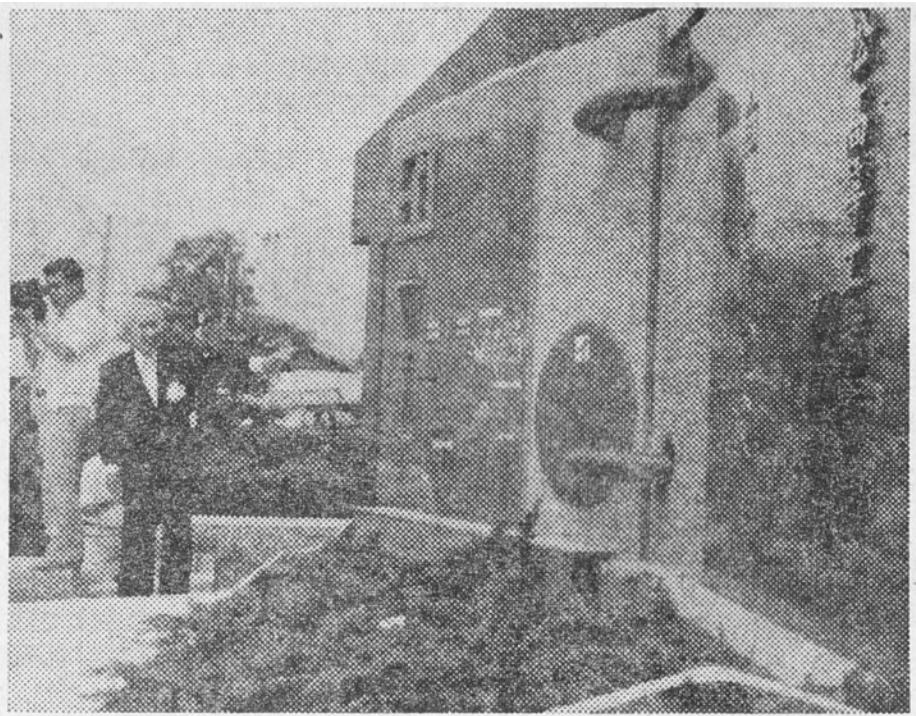
月七日、関係者多数が見守る中で高柳先生と栗原浜松市長、荻野浜松工業会会长の三人の手で除幕されました。

記念碑は高さ約二尺、幅二・三尺、厚さ約二十センチのみかけ石を一枚使用。同公民館前の庭にアルバムを広げたような形で建てられています。

その一枚には「テレビジョン発祥の地」の文字と実験に使われた回路図、初めてプラウン管に写し出された記念すべき「イ」の字が刻まれ、もう一枚には実験を成功させる土壤となつた同校をたたえ「浜松高等工業学校開校の地」とその精神である「自由啓発」の字がくっきりと彫られています。

進取性に富むわが社の技術の潮流である高柳健次郎先生にふさわしいモニュメントです。

写真は高柳先生と記念碑＝撮影は（浜松営）渡辺所長



高柳先生の話「このたび、みなさま方のおかげで、研究室のあつた土地に立派な記念碑を建てていだきました。大変うれしく思いました」

高柳先生-2
発行月日

：1980年 S55.8.10

発行NO. : 274

面（頁） : 7

タイトル

「高柳先生をたたえ旧浜松高工（現静岡大学工学部）跡に記念碑」

記事内容

「7/7、当時研究室だった現西部公民館に先生の功績たたえ記念碑建立」

経営者、大学教授のみなさんに

高柳先生が講演

るVHD/AHDの最新のプログラム、立体VHD等のデモにわが社のAV技術の成果をたんのうされ、さいごには

高柳先生を囲んでの記念写真になごやかなひとときを過ごして帰途に着かれました。

【(研本) 有坂部長提供】

十月十四日、大学教授や実業家からなる実践経営学会の方々七十五人が大和の研究所を訪れ、わが社の技術最高顧問・高柳健次郎先生の講演を熱心に聴講され、つづいて行われたVHD/AHDのデモにも非常な関心を寄せられました。

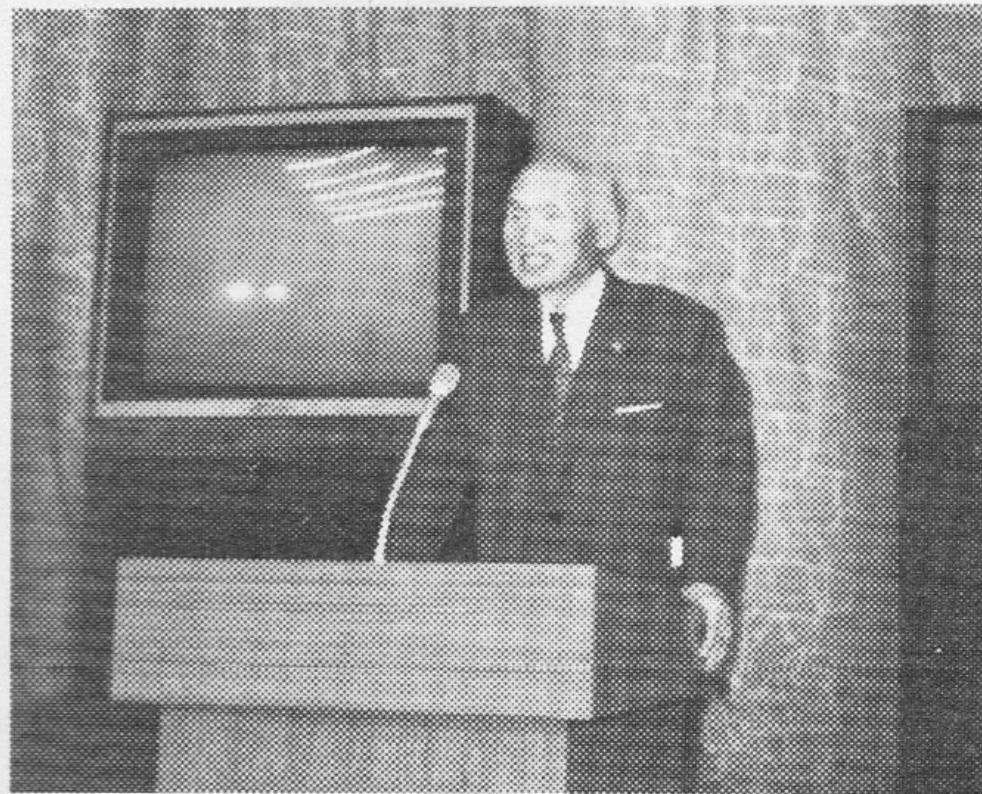
大正十二年フランスのポンチ絵に刺激されて苦労の末、大正十五年の末に世界で初めてブラウン管上に「イ」の字を映し出された時の感激、昭和五年の天覧の想い出や戦争による苦難の歴史など、常に逞しく燃えつづけるチャレンジ精神と謙虚な研究姿勢に、聴講の諸先生は深い感銘を受けられました。

◇ ◇ ◇
この日、実践経営学会では午前中に横浜国立大学で全国大会を開催、そのあとバス二台に分乗して当社大和の研究所を訪問されました。

井上専務の歓迎のご挨拶と高柳先生のご紹介のあと高柳

先生が壇上に立たれ、準備された椅子も使われずに約一時間半にわたって熱のこもった講演をされました。

（ソ事）長谷川制作部長によ



力づよく講演される高柳先生

高柳健次郎先生が マラバ 大学 特別名誉教授に

マア
大学
ラバ

七月十四日、久里浜技術セミナーにある高柳記念ホールで、米国アラバマ州立大学より、高柳健次郎先生に特別名誉教授の称号を授与する式典が行なわれました。

「文化の発展の基礎をひらいた田
で、この記念すべき日に授与
式が行なわれることは非常に
意義深いことです」とあいさ
つがありました。

日本ビグターを代表して、
道会長から「このような称号
をたまわりましたことは日本
ビグターにとっても、名誉な

初の人にないました。 称号授
与の理由は「テレビおよび電
子技術の発展における数々の
功績が多く、技術者や科学者
を勇気づけ、この分野の進歩
に多大な貢献をしたことに対
してささげるもの」としてい
ます。

なわれました。
頭、井上専務より百三十
前の今日はペルリ提督が
地に上陸して、日本の文

つづいて同大学を代表して副学長のM・ポルテラ博士から「この称号はグローバルソサエティの形成に貢献した人

日本ビグターを代表して、
道会長から「このような称号
をたまわりましたことは日本
ビグターにとっても、名誉な

初の人にないました。 称号授
与の理由は「テレビおよび電
子技術の発展における数々の
功績が多く、技術者や科学者
を勇気づけ、この分野の進歩
に多大な貢献をしたことに対
してささげるもの」としてい
ます。



称号額を受ける高柳先生



称号額上記念メダル

高柳先生-4
発行月日

：1987年 S62.8.10

発行NO. : 416

面 (頁) : 1

タイトル 「高柳健次郎先生がアラバマ大学特別名誉教授に」

記事內容

「久里浜高柳記念ホールで“副学長より高柳先生に 称号額、記念メダル授与」

高柳先生-5
発行月日：2003年 H15.1.9
発行NO.：688
面（頁）：4

タイトル
「テレビ放送開始に挑んだ技術者たちの物語（NHK「プロジェクトX」収録）」
記事内容
「宍道元社長他ゲスト出演者で12月中旬、NHKでスタジオ収録、1/28放映」

テレビ放送開始に挑んだ技術者たちの物語



▲ゲスト出演者左より宍道元社長、高柳理事長、元NHK放送技術研究所所長の藤尾孝氏

前号で紹介の通り、1/28放送のNHK「プロジェクトX」で、当社の元副社長である高柳健次郎先生を中心に、日本におけるテレビ放送の実現に向けて執念を燃やし続けた技術者達の物語が放送されます。その番組収録が12月に行われ、宍道元社長と高柳記念財団理事長がスタジオ出演し、当時の思い出を熱く語られました【写真左】。ぜひご覧下さい。



高柳健次郎先生▶

NHK総合テレビ「プロジェクトX 挑戦者たち」
天才技術者 執念のメディア革命
～テレビ放送開始に挑んだ技術者たち～（仮）
放送日時 1/28(火) 21:15～22:00
(再放送 1/29(水) 0:15～ 1:00)

※番組をご覧になった感想を(広)社内報までお寄せ下さい。

東京ビデオフェスティバル「TVF2003」 応募作品2386点と過去最高

世界38の国と地域から2386点（国内935、海外1451）の応募があり、過去最高を更新。ビデオカメラの急速な普及を背景に、中国、韓国などアジアからの応募が750強と急増。全体の約5割を高校生など10～20代が占め、IT時代を反映して映像表現技術の飛躍

2/15(土)
発表・表彰式開催

的な向上が見られ、CGアニメ等が増加。約8割がパソコンでのノンリニア編集となっています。1/15に入賞作品100点を公表。ビデオ大賞など各賞の内容は、2/15(土)に東京・恵比寿「ザ・ガーデンホール」で行われる「発表・表彰式」で発表されます。



議論伯仲の最終審査会、前列手前より小林はくどう氏、椎名誠氏、羽仁進氏、佐藤博昭氏、清水顧問

同時掲載記事



「プロジェクトX」
大反響！ 速報

1/28、NHK「プロジェクトX～執念のテレビ 技術者魂30年の闘い～」の放送後に、電話やメールなどで当社へ寄せられた一般の方からの感想を紹介します。

高柳先生-6

発行月日
：2003年
H15.2.15

発行NO.：690

面（頁）：8

発想の原点を受け継ぎ さらなる開発を

●前のVHSに続き、とても良い内容でした。やはり、夢（製品）と、人々への思いを忘れずに、執着したからこそ、今でも感動を覚えるのだと思います。偉大なる高柳先生の発想の原点を受け継いで、世の中のために、ビクターのさらなる開発を願います。（静岡県・技術者・男性）
●高柳健次郎さんことを番組ではじめて知りました。今の時代はビデオから

DVDの時代へと変わろうとしていますが、JVCにはこれからも「時代に貢献する」企業として頑張って欲しいと願っています。（韓国駐在の日本人会社員）

●大変感動しました。最後の方で、高柳氏の技術者に対する心得が書かれた額が提示され、ビジョン、勇気が必要と…。全文を教えて下さい。（三重県・男性）
●高柳さんの情熱、戦後仲間たちを呼び

集めその夢を叶えたことに大変感動しました。今自分が何気なく使っている便利な物たちは、そんな人々の情熱の賜物なんだと思いました。（30代女性）

●高柳氏のプロジェクトリーダーとしての資質に驚愕しました。そして息子さんの表情から故人の人柄が偲ばれ、少し涙ぐみもしました。（30代男性）

●大学で物理を専攻しているのですが、番組に出てくる技術者たちの話にはとても勇気付けられ、頑張ろうという気持ちになりました。（20代男性）

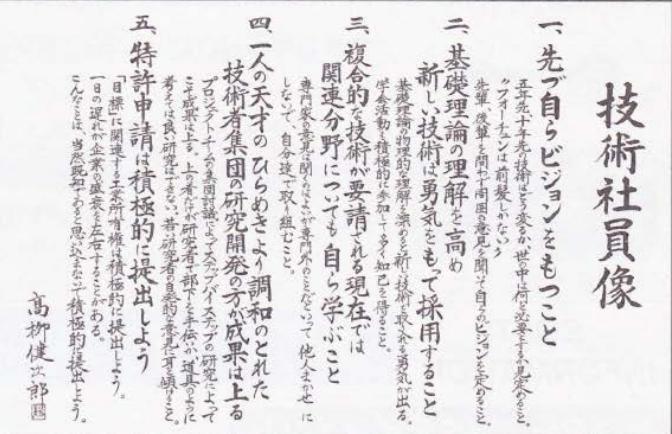
高柳イズムを見つめ直す絶好の機会！

75周年記念「燃える魂」序編（高柳健次郎先生に学ぶ）の必読を

◆上記のように「プロジェクトX」の放送によって、社内外で高柳先生についての大きな反響がありました。しかし若い年齢層には高柳先生が「テレビの父」という程度しか知られておらず、社内でも先生の苦労話や研究者としての考え方など、残念ながら意外と知られていません。

◆そうした実態を踏まえて昨年4月、75周年記念として発行した『燃える魂～先駆け技術への挑戦』には、「今こそ高柳イズムを学ぼう」という趣旨で、序編に「高柳健次郎先生に学ぶ」を掲載しました。既に配布済みの技術職の皆さんにはもちろん、全社員がこの機会に「高柳イズムとは何か？」を今、改めて見つめ直してみませんか。

◆そこで、このたびインターネット社内報「eVictorNews」の特集コーナーに「燃える魂～序編」の全文を掲載し、全員がいつでも読めるようにしました。その中には、小さい頃に教師から学んだこと、番組では紹介されなかった人口天才の



高柳先生は技術社員に対して 1972年(昭和47)、「人口天才になるには」、1973年(昭和48)には「技術社員像」(写真)を配布されました

話、上記の技術社員像、そして今話題の「浜松ホトニクス」の社訓に生きる高柳イズムの紹介などが全17ページにまとめられています。あなたも是非一度ご覧ください。

技術社員像

タイトル
「高柳イズムを見つめ直す絶好の機会！
「燃える魂」序編の必読を」

記事内容
「75周年記念「燃える魂」序編高柳先生紹介をPR、イトラ社内報にも掲載」

「価値あるビデオに」

業界初の
ビデオ紙

合同の記者会見

ある二月十一日、パレスホテルで、ビデオ事業部が、ビデオ記者クラブ（十五紙、幹事代表・立石雄三氏）の記者をまねいて、合同記者会見を行いました。

これは、ますます本格化するビデオ時代にそなえて各メーカーの現状と戦略を説明してほしいとの同記者クラブの要請にこたえて、ビデオ先発メーカーであるビクターがトップバッターとして催したもの。

この会見で、高野（ビ事）長は、三月二十一日から、一般電気店に拡売をお願いするむね、説明い

ある二月十一日、パレスホテルで、ビデオ事業部が、ビデオ記者クラブ（十五紙、幹事代表・立石雄三氏）の記者をまねいて、合同記者会見を行いました。

したあと、「ビデオ関連の技術革新はめまぐるしいが、常にユーザー志向でいく」

「ビデオは單なる「テレビを録画するもの」に終わらず、もっと

「ビデオは、とかくテレビで左右されがちな生活のリズムを、とりもどし、ゆとりのある生活を提供する商品であり、もととみなさんと共に考えていきたい」とあります。

つづいて「一般市販ルートへの戦略は」との問い合わせたて、野田（ビ當）長から「ビクターは四十六年、ビデオカセットを発表した当初から、業界に先がけて、家庭、志向を打ちだしてお、今、特別な、手を考えているわけではない」

利用価値の多さを訴えて、大きくビデオ産業確立のために努力した

オの使いかた」までを含めたサービス体制に、業界初の「ビデオスクール」も確立しています。

こんではユーザーに最も近い位置にいる特約店さまの「意見をよくうかがいながらすすめたい」むね、説明がありました。

このあと、先に発表したポータブル・カラーカメラに質問が集中し、「昔の写真屋さんのようなビデオ撮影屋さん」、「カラービデオ結婚式」や「カラービデオ制作コンクール」など使い方の楽しいアイデアがとび出し、会見は約二時



高野（ビ事）長

高野常任監査役が死去

VHSの事業化に不滅の功績

わが社の常任監査役で前副社長の高野鎮雄さんが呼吸不全のため、一月十九日未明に東京・信濃町の慶應病院で亡くなりました。

六十八歳。

岡大学）卒業後、日本光学および海軍に勤務され、二十一年に縁あってわが社に入社されました。

岡大学）卒業後、日本光学および海軍に勤務され、二十一年に縁あってわが社に

年まで副社長としてVHSの更なる発展に尽くされ、その間、科学技術庁長官賞、藍綬褒章も受けられました。また、「ミスター

機器を手がけられ、四十五年からVTR事業部長（のちビデオ事業部長）として3/4インチVCRの生産、VHSの開発と事業化を指導されて今日のビデオ普及時代の扉を開き、事業を大きく伸長させました。

高野監査役の密葬は一月二十一日、東京・芝の増上寺会館でしめやかに執り行

高野常任監査役

高野監査役は昭和十八年浜松高等工業学校（現・静岡県立浜松工業高等学校）卒業後、日本光学（現・日本光学工業）に入社。VTR事業部長として3/4インチVCRの生産、VHSの開発と事業化を指導されて今日のビデオ普及時代の扉を開き、事業を大きく伸長させました。

高野監査役の密葬は一月二十一日、東京・芝の増上寺会館でしめやかに執り行

列しました。なお、追つて

社葬が行われる予定です。

高野さん-3

発行月日

：1992年 H4.1.25

発行NO.：5061

面（頁）：2

タイトル

「高野常任監査役が死去、VHSの事業化に不滅の功績」

記事内容

「前副社長高野さんが東京都内の病院で死去、68才」



“VHSの父”に 最後のお別れ



高野さん-4
発行月日
: 1992年
H4.3.1
発行NO. :
508
面(頁) :
2

タイトル
「VHSの
父に最後の
お別れ、高
野常任監査
役社葬に
1400人」

記事内容 「2/18、 青山葬儀所 で高野さん 社葬、各界 から最後の 別れ」

社葬「日の朝」は冷えひ不する曇天でしたが、昼すぎには日も射しておだやかな天気になりました。

お客様ま、ご遺族、会社幹部が着席するとやがて定刻の一時。上野常務の司会で社葬式は始まりました。

僧侶の読経がしめやかに流れ、花に囲まれた祭壇からは遺影が「VHSの今後をよろしく頼む」と語りかけているかのように思われました。

引導の儀に續いて、幹事を
員長の垣木会長は「高野さん、どうとうあなたに最後
の別れを申し述べる日を迎
えてしまいました。いかに
定めとは申せ、痛切の極み
であります。

あなたの六十八年間の貴
い生涯をかえりみまして
VHSの生みの親、育ての
親として家庭用ビデオの世
界規格を築き上げられたご
とをぬきに語ることはでき
ません」と弔辞を述べ、苦

そして一市場が停滞しきりしい試練を迎えてる今あなたを失いましたことは何物にも代え難い大きな痛手です。しかし私たちにはこの悲しみをのり越えて、今後ともVHSビデオ文化の更なる発展に

一月十九日に死去された故・高野鎮雄常任監査役の社葬が、二月十八日午後一時より東京・港区の青山葬儀所で執り行われ、官界・業界をはじめお取引先、社内など約千四百人が偉大なVHSのリーダーに最後のお別れをしました。

そして「市

各社に参加を
規格に育て
ト産業なども
業を創造した
の功績を讃え
下電器・谷井社長からも公
正無私を貫き電子産業の発
展に尽くされた、ありし日
の高野さんを追憶する心の
素を創造した。 こもった弔辞をいただきま
した。

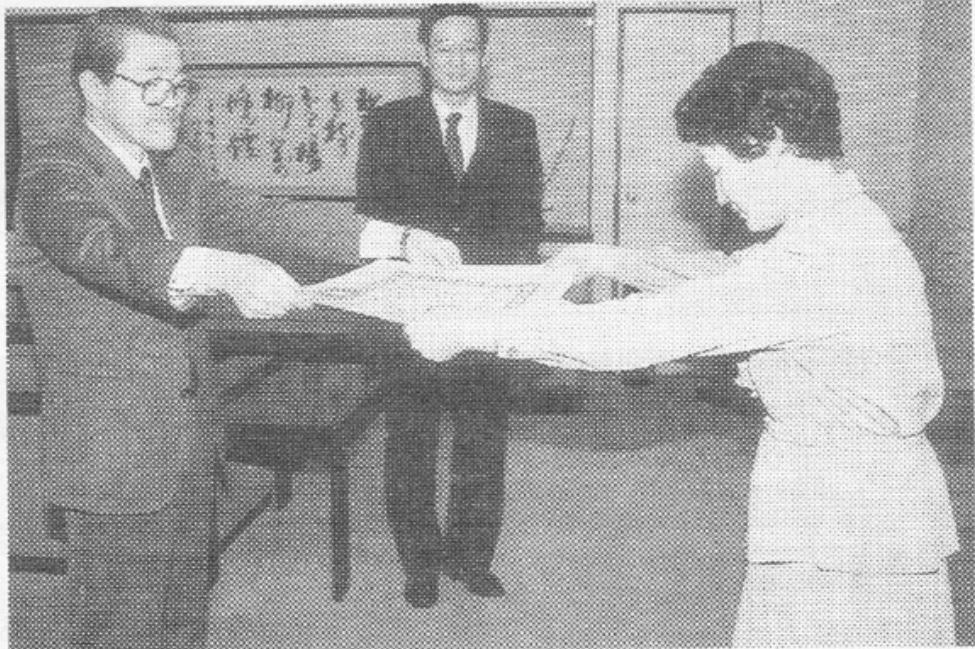
千400人が遺徳しのぶ

松下電器・谷井社長

な姿勢で有力 また、通産省事務次官・

功させたこい」と結びました。(写真
六、オーブン上)

しい事業部経営の中、困難をのり越えて、VHSを開発し商品化を成し、最大限の努力を注いでゆきました。



高野さん-5
発行月日
: 1992年
H4.3.16
発行NO. : 509
面 (頁) : 2

故・高野常任監査役に

従五位 勲三等瑞宝章を授与

智恵子夫人が伝達受ける

一月十九日に死去された故・高野鎮雄常任監査役に対し、このほど叙位・叙勲が決定し、従五位勲三等瑞宝章が授与されました。

この伝達式が三月四日電が関の科学技術庁で行われ、智恵子夫人が同席。事務次官から勲記と勲章を受けました(写真)。

このたびの叙勲は、高

野常任監査役が約十五年にわたってVHSの開発・育成と普及に精根を傾けられ、世界の標準規格として定着させてワールドワイドな電子産業・ソフト産業の興隆に多大の貢献をされた功績によるものです。

伝達式のあと、夫人は

本社を訪れて坊上社長ら幹部にお世話になったお

札を述べられ、また次のように話されました。

「ご承知のように細かいことは家では一切話さない頑固な主人でしたが、会社の皆様のお蔭で、叙勲の榮に浴することができます。」

早速靈前に供え、喜んでもらうつもりです」

タイトル
「故・高野常任監査役に従五位勲三等瑞宝章授与」

記事内容
「3/4、科学技術庁で伝達式が行われ智恵子夫人に授与」

NHK-TV新番組

「プロジェクトX 挑戦者たち」

▶放映日 4/4(火)
21:15~22:00

この新番組は熱い情熱と使命感に燃えて、戦後の画期的な事業を実現した日本人の「組織と群像の物語」。NHKの狙いは、「今は厳しい時代ながらも過去、世界をリードした先人達の偉業を振り返り、今後の自信につなげたい」という主旨。

4/4放送分は、日本人が初めて生み出した世界規格「VHS」。その快挙を成し遂げた高野鎮雄氏と開発プロジェクトにスポットを当てて取り上げられます。

当時の開発担当者等への取材、当社の各所で行なわれた収録を終え、遂に番組が完成。ビクター栄光のVHS物語が放送されます。社内各所が随所に登場します。

▶なお、番組をご覧になった感想・意見を(広)社内報Gまでお寄せ下さい。

小さな集団が大きな世界規格を

～執念の逆転劇・VHSビデオの誕生～



キャスターは、国井雅比古アナ(左)と久保純子アナ。

タイトル

「「プロジェクトX」放送日4/4、執念の逆転劇・VHSビデオの誕生」

記事内容

「NHK-TV人気番組の第2回目放送は高野さん中心のVHS開発の感動ドラマ」

高野さん-6
発行月日

：2000年 H12.3.25

発行NO. : 651

面 (頁) : 4

2002年W杯サッカーコーナー⑦

同時
掲載
記事

日韓の高速衛星通信実験に大画面ILAで協力



郵政省で行なわれた高速衛星通信実験の大型スクリーンには、昨年8月の日韓サッカーOB戦の模様が写し出されました。

2002年日韓大会に向けて、サッカーの試合を日本と韓国との間でリアルタイムに高精細映像で伝送するための高速衛星通信の実証実験が郵政省で行なわれ、当社も全面的に協力。上映にはILAプロジェクターによる大型スクリーン(250インチ×3面相当)への投写が行なわれ、臨場感溢れる映像を提供しました。

高野さん-7
発行月日
：2000年 H12.4.15
発行NO.：652
面(頁)：12

「プロジェクトX」
大反響！ 速報

社外

大いに感動、涙があふれました

「感動した。生徒に“工業高校出身技術者の夢のあるエピソード”として話したい。」(工業高校教員・50代・女性)

「ビクターの経営理念に深く感動しました。すばらしい開発を今後も期待しています。」(OL・29才・女性)

「感激した。ビクターのビデオカメラを使っているので親しみを持って見ることができた。」(60代・男性)

「大変感動した。自分も元技術者として、日本が生み出した技術が世界に普及していることが喜ばしく、誇らしい思いだった。自分はビクターファンなので、技術力の高さをもっとPRしてほしい。登場した技術者の方に“素晴らしい製品をありがとうございました”と伝えてほしい。」(元航空エンジニア・60代・男性)

「感動した」と放送終了直後に電話あり。(元オリンピック強化コーチ)

「いい話だった。HR-3300を持っているので必要なら寄付してもいい。今あるビクターの一番性能のいいビデオをすぐ購入したい。」(元西武鉄道取締役)

「感激して涙があふれてきた。ビクターを見直した。」(西武ドーム球場職員)

「今もまだHR-3300を使っていて、ちゃんと映っている。このことを知らせたかった。」(60代・男性)

「明日から物を作ろうという意欲が湧いてきた。」(技術者・30代・男性)

「大いに感動、ちょっと涙でました。がんばって下さい。」(40代・男性)

「涙が出ました。ビクターの高野鎮雄さんの名前を一生忘れません。日本が世界に誇れるものがあることを知りました。」(60代・女性)

「朝から技術者の間で話題になっていた。最後のシーンは涙した(高野さんが亡くなつて横浜工場をまわるところ)。新人エンジニアにも見せたい。」(本田技研エンジニア・40代・男性)

社内

勇気を奮い立たせてくれた

「面白かった。人の顔の見える、会社の歴史のようなものが少し分かって良かった。今の厳しい時期、勇気を奮い起こさせてくれる良い内容でした。今の時代、これからにどうつながっていくのだろう?見終わって、明日からがんばりたいと思いました。」(女性社員)

「身近な所が沢山出てきて、今自分が働いている所にもすごい歴史があったんだなあと思いました。今の社内にもこんな気合が必要かも?」(20代・女性社員)

「良い企画だったが、時代はもうVTRから次の時代に移っている。みんな“昔のビクター”的になってしまっていて、現在と直接結びつかないのが残念だ。」(40代・男性社員)

◆ごく一部を紹介しました。引き続き、皆さんからの感想をお待ちします。(広)社内報Gまで。
◆4/29深夜、25:05～再放送の予定です。

タイトル
「「プロジェクトX」大反響！
速報 (社外/社内の視聴後感想)」

記事内容

「4/4放送後、電話などで寄せられた社外/社外の感想や反響の一部紹介」

映画シーンにビクター商品ぞくぞく登場!



ダム制御室シーンにDVカメラや42型PDPが登場
<8/19~全国東宝邦画系にてロードショー>

同時
掲載
記事

- ◆織田裕二主演のアクション超大作。巨大ダム爆破を通告したテロリストの要求は50億円。爆破阻止に一人の男が立ち向う…。
- ◆夏公開の映画「ホワイトアウト」の中にビクター商品がぞくぞくと登場します。
- ◆警視庁・対策本部のシーンにD-ILAプロジェクター、ダム制御室のシーンにモニターと42型PDP、プロ用DVカメラなど。
- ◆映画に写らないところでも機材協力をしており、民生・プロ合わせて約50商品が映画制作のために使われています。

※映画情報は(<http://www.whiteout-movie.com>)まで。

「プロジェクトX」
大反響!
続報

ビクターファンになりました!

前号(4/15)に続き、NHK「プロジェクトX」の感想や大反響を紹介します。

「僕は大学で機械工学を専攻している者です。番組を見て、あつという間にビクターのファンになってしまいました。他社にない新しい物を創るということは、とても難しいことだと思いますが、諦めずにこれからもいい物を創り続けてください。「挫折のないところに進歩はない」ということを高野さんから学びました。ビクターさんに感謝しています。自分もどの会社かまでは決めていませんが、将来技術者になりたいと思っています。」(大学生・男性)

「番組を見て、ひとつ感動したことを思い出しました。5年ほど前のことです。父の思い出の品(VHS第一号機HR-

3300)が壊れて修理に出しました。そしたらちゃんと直って帰ってきました。しかも、隅々まできちんと掃除もしてくれていました。以来僕も父も絶対にビデオはビクターというようになりました。本当にユーザーの気持ちを大切にしているなということが伝わってきます。これからもユーザー本位のやりかたでがんばってください。」(20才・男性)

「NHKが、これ程1社だけ取上げて放送するのもめずらしい。ビクターにとって公共放送でPRをこれ程やった例は今までないことでしょう。史上最強の広報だと思います。シャープ、松下、三菱の各社がビクターをたたえていることもすごかった。」(映像制作プロデューサー・53才・男性)

高野さん-8

発行月日

: 2000年 H12.5.15

発行NO. : 653

面(頁) : 8

タイトル

「「プロジェクトX」大反響! 続報 (前号に続き)、ビクターファンになりました」

記事内容

「前号に続いて掲載、続々と寄せられた感想や反響の中から一部を紹介」



執念の逆転劇

NHK プロジェクトX 制作班 編

窓際族が 世界規格を 作った

VHS・執念の逆転劇

おまけ

NHK出版のHPより転載

VHS開発ストーリー 映画「陽はまた昇る」

いよいよ6/15より全国公開 感動の輪を拡げよう!

映画「陽はまた昇る」が6/15、いよいよ全国東映系劇場でロードショー。当社の高野元副社長をモデルとし、社員たちのVHS開発物語、そして影でそれを支え続けた妻や子供達との家族愛を描いた感動ストーリーを、家族や友人など、より多くの方々に鑑賞いただけるように、全員の力で感動の輪を拡げましょう。

公開に先立ち、5/21に丸の内東映で行われた完成披露試写会の舞台挨拶で、主演の西田敏行さんは「自分で見ても4回泣きました。素晴らしい作品です」とアピール。映画を見た

方の反応も大変良く、東映がまとめたアンケートでは9割以上の方が満足。特に女性の満足度が非常に高くなっています。「人に感動を与える生き方をしたい」(50代女性)、「息子にも是非見せたい」(60代男性)など大好評。

また試写会に先立って、寺田社長より感謝の気持ちを込めて、西田敏行さんと渡辺謙さんにDVCを贈呈。その後開かれた東映関係者や出演者らが出席した「映画を大成功させる会」では、応援企業を代表して寺田社長が挨拶、興行成功に向け、最大限の協力を誓いました。



高野さん-9
発行月日
：2002
年
H14.6.15
発行NO.：
681
面（頁）：
3



劇場前にはネクタイ姿のサラリーマンも多数



西田敏行さんら出演者の皆さんとの舞台挨拶



社長より感謝の気持ちを込めてGR-DVP7贈呈



試写会後に行われた「陽はまた昇る」を大成功させる会。右から2人目は原作者の佐藤正明氏（「映像メディアの世紀」著者）

タイトル
「映画
「陽はまた
昇る」いよいよ
6/15
全国公開、
感動の輪
を拡げよう」

記事内容
「故高野元副社長がモデルのVHS開発ストーリー、感動の試写会風景」

国内営業では販促に積極活用！

試写会動員／デモソフト配布／内覧会でPR

国内営業本部では、映画公開を企業イメージアップにつなげ、販促としても活用しようとさまざまな活動を実施中です。

すでにA全判ポスター1万枚・チラシ20万枚・プロモーション用DVDソフト3千枚・割引券などを全国の特約店3000店に配布。また各所で開催の試写会へ有力店様を招待するなど、ピクターファン作りに積極的に取り組んでいます。

全国での合展やPDP&ホームシアターフェアでもデモソフト効果で、お客様へのPRはもとより、営業第一線の士気向上にも結びついており盛り上がりを見せています。

人文字エキストラの社員向け試写会も開催



土屋常務が舞台挨拶（伊勢佐木町）大阪での試写会も大盛況

5/28、6/3には人文字に協力した（AVH）社員の試写会が、また6/8には大阪で松下電器の関係者などの試写会も開かれ、公開前から話題沸騰です。

チケット販売に一層のご協力を！



社員本人（1枚のみ）1000円
本人以外（社外斡旋）1200円

映画「陽はまた昇る」が6/15公開となり、グループ全社従業員の皆さんには社内チケット特別販売にご協力いただき、ありがとうございます。

この映画の大ヒットで興行的にも大成功させるべく、ご家族はもちろん、知人・友人・取引・関係先など1人でも多くの方へ吹聴いただき、一層の販売拡大のご協力をお願いいたします。

◆購入問合せ：（興産商事部）菅沼、高橋
TEL 046-278-1975 詳細は興産ホームページで ◆締切：6/28（金）

< 社内報アーカイブス・エポック関連 経営編 >

～ 編集後記 ～

このたび、社内報アーカイブスの資料提供及び記事編集を二人の共同作業でさせていただき、長い歴史の中の一部ではありますが、改めて日本ビクターの輝かしい足跡をしっかり振り返ることが出来ました。

特に、人間性溢れる優れた経営者の方々の言動、世界に先駆けて新たな技術開発に日夜努力された社員の皆さん姿、さらには大和一致を実践した素晴らしい人間集団の行動の数々など、そのすべてに新たな感動を覚えました。こうした誇るべき歴史と伝統ある日本ビクターが何故世の中から消えてしまったのかと思うと、本当に残念であり悔しい思いでいっぱいです。

7月から3回に分けて社内資料報アーカイブスをとりまとめてきました。振り返ってみると・・

第1回（7月）高柳健次郎先生：31記事

第2回（8月）新技術開発・新規商品：55記事

第3回（9月）経営編：30記事、高柳先生・高野さん追加分：15記事
と、合計131件の記事を収めることができました。

経験された方はおわかりでしょうが、印刷物から目的の範囲を傾かないようにスキャンし、画像切取、合成、編集という作業は、結構時間を要し精神の集中と神経を使う・・肩の凝る作業が続きます。しかしながら、日本ビクター社史の後半40数年にわたる歩みを俯瞰するような楽しみを味わいつつ、かつ当時を思い起こしつつ、この作業に取り組むことができたことも事実です。願わくは昭和20年代～46年頃にかけてのビクター苦闘時代、再興時代の社内報に接する事ができたら・・との想いも強く持ちました。

閑話休題、この「イ」の字HPに寄せられた数々の貴重な資料は、単に高柳先生の偉大な功績や教えに関するものにとどまらず、日本ビクターの歴史を語る大切な記録として後世に残すべき遺産でもあると思います。

最後に大変おこがましいですが、このHPで私達OBが昔を懐かしむだけでなく、現代を生き抜く後輩そして子や孫へもしっかり伝承して頂けたらと願っています。

2015年(H27)9月 西郷 治男
清水 邦昭

付録～写真やカタログ～

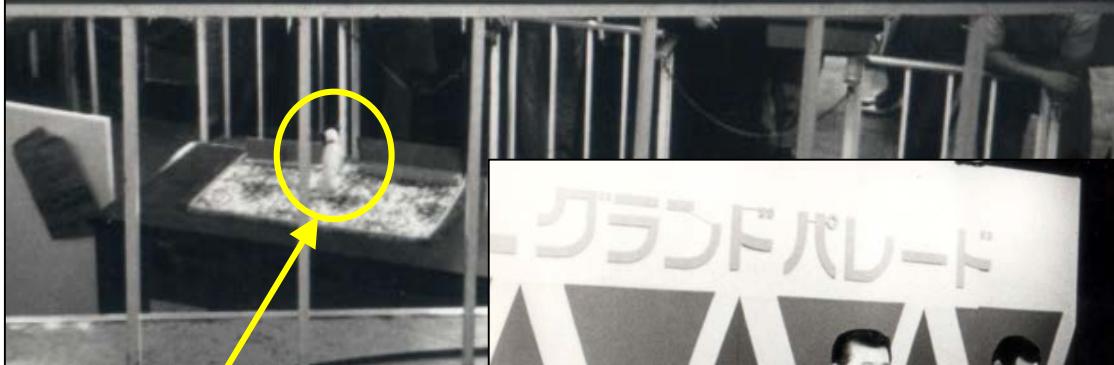
- ・ビクターミュージックショウ：S41年
- ・懐かしい銀座のネオンサイン：S47年
- ・岩井工場カラーテレビ事業部：S41年～
- ・カラーテレビ C-5018 広告：S47年
- ・カラーテレビ新聞広告：S48年
- ・ラテカセ77：S52年
- ・カラカセ CX-50：S55年
- ・W-VHSハイビジョンシステム：H6年
- ・水戸工場の会社案内：H4年
- ・ビデオテープ新商品マニュアル
(商談用)：H5年



ビクターミュージックショウ
グランドパレード
(昭和41年6月)

於 東京伊勢丹ホール

会場前の行列
(伊勢丹ホールの
サインボードあり)



ニッパー

フランク永井



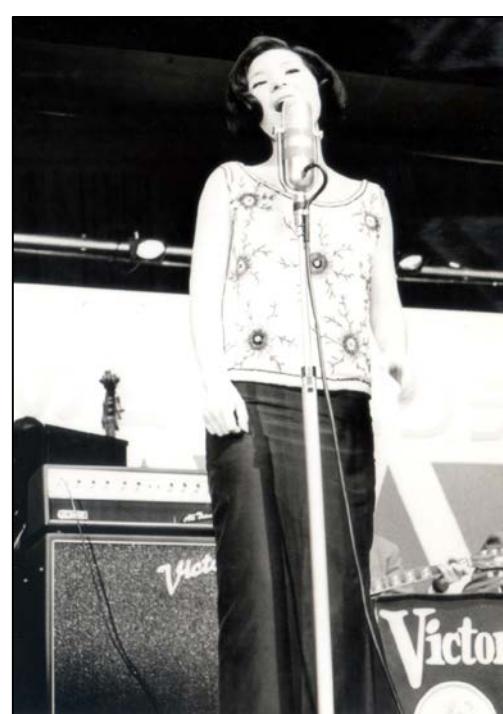
三浦洸一



田辺靖雄



中尾ミ工



青江三奈



場内は立ち見も



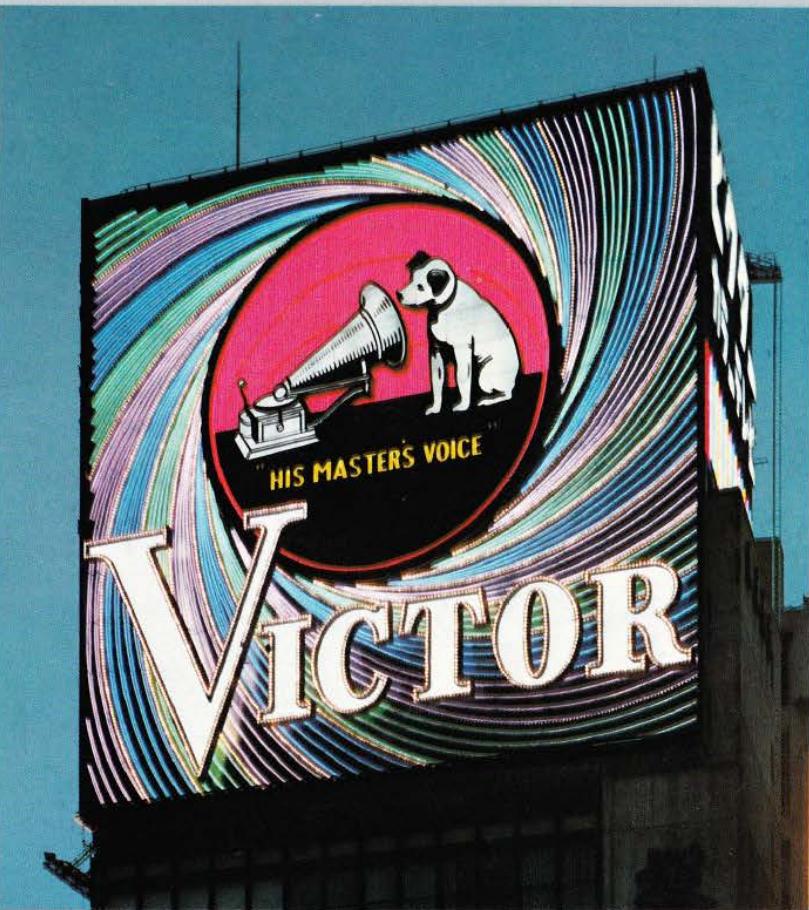
?



?



?



東京銀座にあるアドサイン (幅19m・高さ18m・マーク直径11m)

優れた技術で
音と映像の世界を
追求する
青年ビクター

リクルート用会社案内より：1972年（昭和47年）当時のもの

(表紙) 懐かしい銀座のネオンサイン



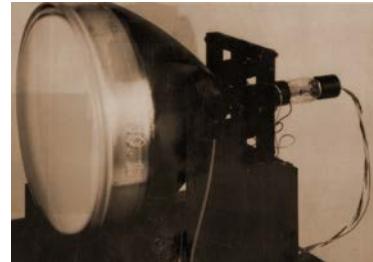
岩井工場 カラーテレビ事業部 第一期工事完成 本格操業開始

：1963年（昭和41年）8月

◆ 来年（2016年）は
操業開始 50周年！



すべては
ここから
始まった！





岩井工場 初荷式
: 1964年
(昭和42年)
1月4月



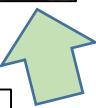
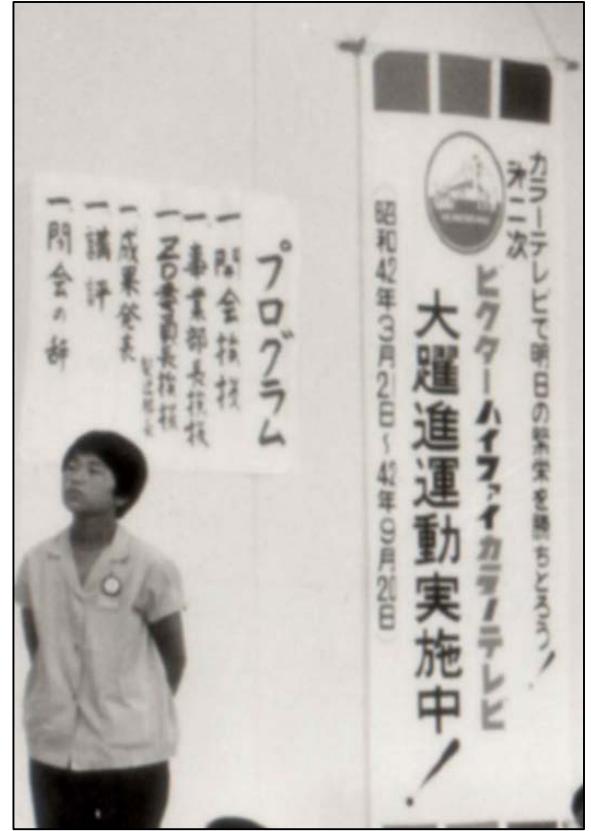
式次開第挨拶宣杯乾ビクタ一萬才
営業部長高柳専務取締役
昭和四十二年生産性倍増の年
ひとり一人の働き倍増

高柳専務



↑ 初荷テレビを満載した、トラック車列





カラーテレビで明日の繁栄を勝ち取ろう!
ビクターハイファイカラーテレビ
大躍進運動実施中!
昭和42年3月21日～42年9月20日



岩井工場 カラーテレビ事業部
ZD成果発表会 昭和42年3月17日 (1964年)

※ZD運動 (zero defects movement)

無欠点運動。従業員一人一人の自発性・熱意を喚起させ、創意工夫により仕事の欠陥をなくし、コストの低減、製品・サービスの向上を目的とする運動。



北野専務 岩井工場視察 昭和42年7月（1964年）

QC会議

暑い中、窓を開け、扇風機
で涼をとりながら、熱心な
やりとり！





画像の明るさ

当社比



店頭で3分お時間をください。

なぜ2倍も明るいのでしょうか？

純白マトリックス管の採用と、ビクター開発の高輝度純白シャーシのはたらきにより、2倍の明るさを実現。明るい場所でも鮮やかなカラーは負けません。

- ビクター開発のシーンコントロール、ニュー・アバコンそして原色ドライブ方式の効果で輪郭のクッキリした、鮮やかな自然色を再現しました。
- A.P.Cオートシステムによりお子様でもワンタッチでベスト画像に調整ができます。

店頭3分間で、すべての良さがおわかりいただけます。見比べてお選び下さい。

リビングインテリア設計

ICトランジスター 18型 C-5018 (本体) 標準価格 131,000円

別売り: 飾りケース付き置台CFT-42型 4,500円



ビクター 純白カラーテレビ

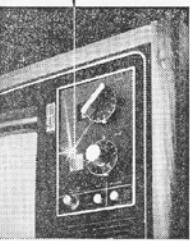
カラーテレビ C-5018 1972年（昭和47年）発売：当時の株主用広報誌裏面
※従来より明るさ2倍で自然な色を再現する「純白回路」を搭載した
高輝度純白カラーテレビ

※色がきれいなことは勿論、テレビ事業部一体となって開発したV3シャーシで
サービス性の良さはビクターサービスでも好評だった。

目を疲れさせない技術です。 EEオート回路

EEオート回路 日本ピクターの画期的開発（特許申請中）
お部屋の明るさに応じて画面を自動調整する《EEオート回路》

お部屋の明るさが変わると
目が疲れないように画面の
明るさ、コントラスト、色の
濃淡を自動的に調整する、
《EEオート回路》。明るさが
十分だからできたピクター
独自の、会心の技術です。
ぜひ、店頭でご覧ください。



目をまもる自然な美しさ

ピクター 純白カラー ビクトロンTV



EEオート回路採用の広角110°

18型 C-5718E(本体)

標準価格 139,800円
(アンテナ・工事費別)

別売り
スピーカー付き裏台 CFT-5718型 15,500円
デジタルタイマー CTK-20型 4,400円
※取りケース付き裏台(6,600円)も用意しました。

■今日の声に耳をかたむけ 明日の技術に生きるピクター

- ①明るく、色鮮やかな映像です
自然の色をより忠実に再現します。
- ②回路技術がものをいう節電設計
ムダな電気を使わないので長寿命
- ③カラー選びのポイントは白
- ④ピクターならではの音響技術
- ⑤品質、性能を高めたブロック基板

★テレビを楽しくご覧いただくために
(高さ) 画面の高さは目の高さと同じか、低目に
(角度) 角度は画面に向って正面か、30°以内に
(距離) 距離は画面のタテ幅の約8倍が最適
(場所) テレビの後に、窓やあかりがこないよう

VICTOR ピクターローンシステム
ローン (銀行ローン、ニッパー
Lプラン) をご利用ください。
ボーナス時増額返済も可能です。

EEオート回路 日本ピクターの画期的開発（特許申請中）
お部屋の明るさに応じて画面を自動調整する《EEオート回路》

お部屋の明るさが変わると
目が疲れないように画面の
明るさ、コントラスト、色の
濃淡を自動的に調整する、
《EEオート回路》。明るさが
十分だからできたピクター
独自の、会心の技術です。
ぜひ、店頭でご覧ください。



目をまもる自然な美しさ

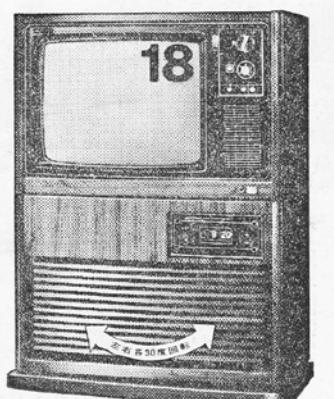
ピクター 純白カラー ビクトロンTV

■今日の声に耳をかたむけ 明日の技術に生きるピクター

- ①明るく、色鮮やかな映像です
自然の色をより忠実に再現します。
- ②回路技術がものをいう節電設計
ムダな電気を使わないので長寿命
- ③カラー選びのポイントは白
- ④ピクターならではの音響技術
- ⑤品質、性能を高めたブロック基板

★テレビを楽しくご覧いただくために
(高さ) 画面の高さは目の高さと同じか、低目に
(角度) 角度は画面に向って正面か、30°以内に
(距離) 距離は画面のタテ幅の約8倍が最適
(場所) テレビの後に、窓やあかりがこないよう

VICTOR ピクターローンシステム
ローン (銀行ローン、ニッパー
Lプラン) をご利用ください。
ボーナス時増額返済も可能です。



EEオート回路採用の広角110°

18型 C-5718E(本体)

標準価格 139,800円
(アンテナ・工事費別)

別売り
スピーカー付き裏台 CFT-5718型 15,500円
デジタルタイマー CTK-20型 4,400円
※取りケース付き裏台(6,600円)も用意しました。



拡大

ピクター時報 1973年
(S48.12.1) に掲載
された広告

名機 C-5018 の後継機

13枚基板標準化シャーシ (V3シャーシ)

18型カラーTV

EEオート回路

◆ ビクトロンTVとは？

この頃、ピクターが開発した電子オルガン「ビクトロン」がヒットしていたので、そのネーミングを利用したようです。（ネーミングはテレビ技術ではなく、テレビ営業が考案、名付けていました）

EEオートとは：

- (1) 部屋の明るさを検知するCdS光センサをカラーテレビに内蔵し、コントラストや色の濃淡を視覚特性に合わせて自動調整する新回路。
- (2) 省エネ化・夜間など暗い部屋では、ブラウン管のコントラストを下げるで消費電力の低減につながる。省エネ化の先鞭となつた。

※産業技術史資料データベース（国立科学博物館）より抜粋

EEオートは町田さんが開発され、昭和35年に白黒テレビに搭載されました。

初期のカラーテレビには搭載されていませんでしたが、この頃からカラーテレビに標準装備され、キャッチコピーとして使われました。

驚異の5バンド設計、4電源方式。 狙った放送電波を鋭くキャッチします。



標準価格 67,800円
型名 M-77
ラテカセ77



聞く・見る

1機に2つの機能をパック

ラジオ・テレビで、軽量・コンパクト。

アクティブな男の情報メカです。

テレビは家中で見るもの、という常識をM-5は打ち破りました。部屋の中に限らず、戸外でも、車の中でも楽しめます。海に、山に、キャンプに、釣りに、出かける場所へそのまま連れて行ける、持ち運び便利な行動派メカです。

5バンド、4電源方式。欲しい放送電波を、鋭敏にキャッチします。

ラジオはFM/MW/SWと3バンドが、テレビはVHFもUHFもと、お望みの電波がキャッチできます。しかも、家庭用電源のみならず、乾電池、充電式電池、カーバッテリーと4電源方式を採用。乾電池ひとつとっても視聴時間を飛躍的に改善、使い勝手の良さに徹しました。室内でのパーソナルメカとしてはもちろん、ドライブ、ハイキングなど屋外レジャーのパートナーとしても、幅広い使い方が楽しめます。

低消費電力設計の3型ブラウン管

見せる技術もいんだんに採用しました。

行動派メカの条件は、まず軽量であること、そして電池で長時間見られるかどうか、の2点です。M-5は低消費電力設計のブラウン管を開発、当社5型テレビと比較して、視聴時間を約2倍、消費電力も減少、使用乾電池数も6本と少し、本体重量2.7kgと軽量化を果たし、画期的アウトドアテレビとして、多方面からの注目を集めています。

操作しやすい、本格的テレスコピック

FM/SW/TV-VHF/TV-UHF

共用ロッドアンテナ採用

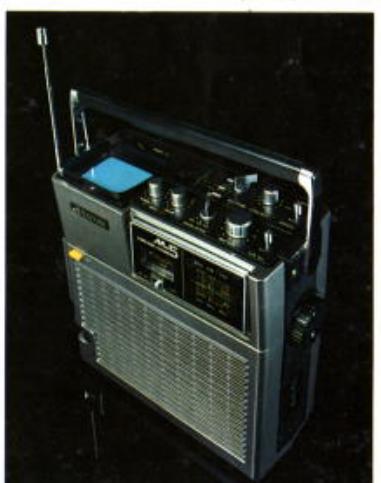
ピクター技術を駆使した、音質本位の設計。
高感度・高選択度を誇っています。

12cm大口径メタルセンター・キャップ高性能スピーカーによる忠実再生。高信頼性モノリックIC採用のオールチャンネル電子同調式無接点チューナー、弱電界域、難視聴地域でも、安定した受信ができる、高感度・高選択度設計になっています。アウトドアライフの楽しみを大きく広げるM-5は、ボディも酷使に耐えるタフなつくりになっています。

●規格内容

テレビ受信チャンネル：VHF 1~12CH/UHF 13~62CH
ラジオ受信周波数：FM 76~90MHz
SW 3.9~12.0MHz
MW 530~1,600kHz
テレビ用チューナー：VHF/UHF電子同調式無接点チューナー
受 信 器：3型 40度偏向
ア ン テ ナ：TV/FM/SW回転式ロッド・アンテナ
半 寸 体：IC3種、トランジスター32個、ダイオード7個
ビ ー カ ー：メタルセンター・キャップ付12cm丸型1個
音 声 出 力：実用最大1,000mW(EIAJ)
使 用 電 源：AC100V 50/60Hz
單一乾電池6本・充電式電池6本
001Z(使用別売)・カーバッテリー
(AP-23Z使用別売)
消 費 電 力：ラジオ時AC4.5W、DC2.0W(音声最大時)
外 形 尺 度：(H)30.2×(W)25.1×(D)10.8cm
重 量：2.7kg(本体のみ乾電池含まず)
付 属 品：単一乾電池6本・イヤホーン・ケーブル
タブラー/ACコード

※規格および外観は改善のため変更することがあります。
別売アクセサリー
充電式電池 BP-001Z 12,000円
透光フード TH-001Z 1,000円
オートプラグ AP-23Z(12V用) 1,000円
カーバッテリー AT-2 3,000円
キャリングケース TOB-M5 2,500円



標準価格 47,800円

M-5
5 Band Radio-Television

ビクター時報-13「がんばれ ヨコヨコ（松野社長提唱「ヨコヨコ運動」の事例紹介）」に書かれている、白黒テレビ事業部商品「ラテカセ77」のカタログ：昭和52年（1977年）発売

※「ラテカセ」の名称は「ラジオ・テレビ・カセット」の合成語で日本ビクターが命名した名称



「カラカセ」——この複合メカを日本で初めて開発したビクターがまた、新作を送りだしました。その名は“カラカセ50”。5型カラーテレビにラジオとカセッターを搭載した、新しい1機3役メカです。しかも、室内だけでなく野外でも使用できる4電源方式。文字通りビクターのカラー技術、複合技術のすべてを結集した会心作。アウトドアにインドアに、行動のネットワークを広げる、アクティブな男たちにふさわしいニューメカです。

カラーテレビ・ラジオ・カセッター
カラカセ50

カラーテレビで「見る・聞く・録る」——男たちに待望の1機3役メカ。

「カラカセ」カラーテレビ・ラジオ・カセッター
音声多重内蔵ステレオカラカセ CX-50
：1980年（昭和55年）発売 ￥110,000-

5型55度偏向インライン・ドット管（横9.8cm 高7.3cm）
本体重量4700g 消費電力AC28W/DC15W
4電源方式：AC/充電池/カー電源/乾電池(単一10個)

VICTOR Hi-Vision SYSTEM

1125本の走査線数を持つ高精細な映像、人の目に自然で見やすい、広い視野角30度の16:9画面、従来の約1/2の距離から見ることができる最適視野距離3H(画面の高さの3倍)が生み出す臨場感……。

いちど触れれば、人をとりこにせずにはおかないハイビジョンの圧倒的魅力を、より多くの人に、見て、録って、聞いて楽しんでもらうために、ビクターには、トータルにお届けできるものがあります。

Wで拡がるハイビジョンの世界。



（録ることで拡がる、
ハイビジョンの魅力、
楽しみ方。）

毎日平均9時間のハイビジョン放送。あなたにも、録っておきたい番組がきっとあると思います。

スポーツ、コンサート、映画……。同じシーンもハイビジョン番組で接すると、美しさと臨場感、感動が違います。ハイビジョンテレビをお持ちの方なら、これまで、録画しておきたかったプログラムがきっとあつたにちがいありません。録画できないことを理由にハイビジョンテレビの購入を控えていた方も多くいらっしゃるかもしれません。しかしこれからは、ハイビジョンは見て楽しむだけではありません。W-VHSの誕生が、驚きの映像の楽しみ方を何倍にも拡げてくれます。



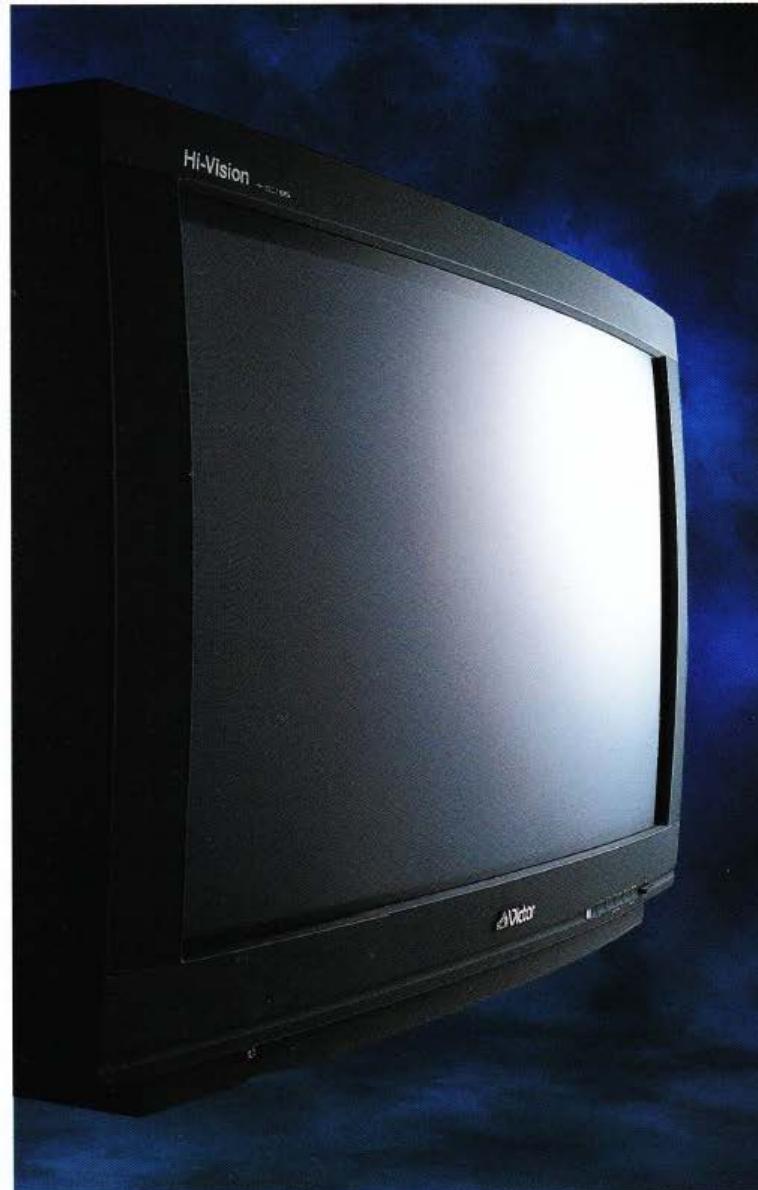
Hi-Vision



W|VHS

本当の美しさをもっとあなたの近くに、エンターテイメント・ハイビジョンテレビ。

Hi-Vision TV



新開発ハイビジョン技術

ハイビジョン映像の魅力をあまする再現する

新開発MUSEデコーダー

現行放送の約5倍もの情報量を持つ、ハイビジョン。高品位な映像を再現するには、現行放送の送信方式では不可能です。MUSE方式は、この画像情報を圧縮して送信。そして受信されたこの圧縮データを復元し、高品位なハイビジョン映像として再現するのが、MUSE



デコーダーです。当然、ハイビジョン映像のクオリティを左右する極めて重要な機能をはなすことになります。そこでビクターは独自にMUSEデコーダー用ICを開発。「ニュサンプリング方式」「分割型折り返し妨害除去回路」「巡回型フィルター動き検出回路」などの新技術を搭載して、高精細なハイビジョンの魅力をあますところなく再生します。

家庭用ハイビジョン・ビデオ、W-VHSに対応

VHSのニューフォーマットとして登場した「W-VHS方式」に対応しています。W-VHSのために独立した端子を装備。ハイビジョン放送と現行放送を自動判別することによりW-VHSビデオカセットと連動しますから、接続の変更や入力の切り換えるなど、めんどうな操作をすることもなく、より手軽にハイビジョン放送や衛星放送、地上放送の録画・再生がおこなえます。

ワイド画面高画質

色ニジミやチラツキの少ない自然な映像を再現する
3次元Y/C分離回路

輝度(Y)信号と色(C)信号から構成されるコンポジット信号を高精度に分離。静止画像はもちろん、動画部分でのクロスカラーやドットなど妨害を大幅に低減して、衛星放送などを、色のニジミやチラツキの少ない高画質映像で再現します。

ノイズ成分を軽減し高画質映像を再現する
3次元ノイズリダクション回路

3次元Y/C分離回路の採用にともなって、映像にふくまれるノイズ成分だけを軽減。画質の鮮明さを損なうことなく低ノイズの美しい映像を再現します。
あざやかな映像を再現する広帯域復調回路

新開発の広帯域復調回路によって、みずみずしい肌色やあざやかな緑はもちろん、微妙な赤の階調やディテールまで、さらに鮮明な映像で再現します。自然で高品位なハイビジョン映像を再現する
16:9ワイドフラットブラウン管

外光などの映り込みを軽減。ワイド画面のすみずみまで、ヒズミの少ない鮮明な映像で再現。

お手持ちのビデオでハイビジョン番組を録画できる
高画質MUSE-NTSCコンバーター

ハイビジョン放送やビデオディスクからのMUSE信号を通常のNTSC信号に高画質変換する「折り返し妨害除去回路」を採用。お手持ちのビデオなどで、手軽にハイビジョン番組が録画できます。また、フルモード録画されたハイビジョン番組を自動判別する「S1映像入力端子」により、テレビ画面の映像モードを16:9のフルモードに自動設定します。

ワイド画面技術

いつもの番組がワイド画面で楽しめる
パノラマモード

ドラマは映画のよう、スポーツ中継ならばまるでスタジアムにいるかのように。あらゆる映像ソースを、自然でしかも迫力あるワイド画面で楽しめます。

ハイビジョン対応。高密度記録メタルテープ、誕生。

Hi-Vision W-VHS VIDEO CASSETTE

映画をワイド画面いっぱいに楽しめる 字幕移動機能

横長のシネマスコープ、ピスタサイズの映画などを、16:9のワイド画面いっぱいに映し出す場合、画面の外にはみ出した字幕を、映像の中に移動。字幕の位置を自由に設定して、字幕が切れることなく、臨場感にあふれるワイド映像を楽しむことができます。映画本来の美しさを追求した

シアターステータス

映画館のように、外部の余分な光をおさえた室内で映画本来の柔らかい色調の映像が楽しめます。また部屋の明るさを感じて、画面の明るさとコントラストを調整する「E.E.シアター」によって、長時間の映画も、目に優しい映像で楽しむことができます。

マルチ映像ソースをワイドに楽しむ

子画面機能(PIP/POP)

親画面と子画面が同時に楽しめるPIPとPOPを搭載。BS放送を見ながら、同時に子画面では地上放送をチェックするなどなど、ワイド画面をフルに活用したさまざまなピクチャー・モードが楽しめます。

ハイビジョン高音質

高音質に立体感あふれる音場を再生する

3-1方式4チャンネル・ステレオ放送

ハイビジョン番組のデジタル音声信号である3-1方式4チャンネル放送に対応。専用の音声出力端子を利用してオーディオアンプなどと接続することで、ワイド画面と一体の、立体感のある音場を作ります。IHR-W1では3-1方式4チャンネル記録・再生はおこなえますが、W-VHS用にして2チャンネルに変換された音声を記録することができます。)

ワイド画面に合わせたパノラミックな臨場感音質

パノラマドーム

ワイド画面ならではの映像に合わせて、人を包み込むかのような臨場感を再現するのが、高音質ドームスピーカーユニットによる音場効果です。音域ごとに独立した2ウェイ・スピーカーと重低音用ボックスにより、高音から低音までスムーズに再生します。



HV-32Z3

ハイビジョンテレビ HV-32Z3

本体標準価格 850,000円(税別)

(パチリココド端子/アンテナ工事費込)

本体(法/幅80.5×高さ53.1×奥行19.5cm 本体重量/68.0kg

別売: ナビゲーション KRC-32Z3 標準価格 50,000円(税別)



高性能メタルテープによる高帯域記録

情報量の多いハイビジョン信号を記録再生するため開発された、メタルテープによるW-VHSビデオカセット、WT-180HA/WT-120HA。新メタル磁性体の採用によって、より高い周波数帯域までをカバーして、W-VHSのHDモードでは高品位なハイビジョン映像の録画・再生を可能にし、またSDモードではS-VHSをしのぐ鮮やかで自然な高画質映像を長時間にわたって録画・再生します。

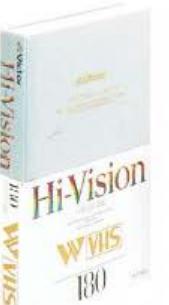
進化した新設計のカセットシェル

W-VHS専用カセットシェルでは、ガードバネル部に新開発のインナーリッドを設け、テープを前後から挟み込むダブルリッドの防塵設計を採用。これによって、テープを外部からのごみやキズから守り、ドロップアウトの低減を図りました。また、誤消去防止機能も録再時の簡便性を考慮して、従来のツメを折る方式を改めスライド式ツメを採用しています。

●ご注意

●このビデオカセットはW-VHSビデオ専用のカセットです。必ず、W-VHSマークのついたビデオにご使用ください。

●このビデオカセットは従来のS-VHS/VHSマークのついたビデオには使用できません。無理に挿入しますとテープを傷つけたりビデオを破損することがありますので、ご注意ください。



WT-180HA
WT-120HA

W-VHSビデオカセット

WT-180HA(180分用) WT-120HA(120分用)

¥5,900(税別) ¥4,900(税別)

最新のハイテク技術を駆使した、研究開発とあくなき品質管理。

磁気製品の限りない発展は理想を求める、夢を実現しようとする絶えまい研究・開発があつてこそ初めて可能となるのです。私たちは化学、物理学、電子工学、精密機械学などあらゆる産業分野に及ぶ基礎研究をはじめ、原材料の磁性体や高度な精密加工技術、徹底したFA生産技術といった専門分野まで、ハイテク技術を駆使した最新の研究設備を導入し、日夜努力を続けています。またVHS開発メーカーとして、日本ビクターのハード技術や総合研究所との連携により、将来の夢の製品づくりにも積極的に取り組んでいます。さらにソフト

分野でも最高の音質・映像の追求に向け、ビクターの総合力をフルに発揮できる体制で研究・開発を進めています。

一方、あらゆる製品はどこでも、いかなる条件下でも常に最良の特性が発揮できるよう、厳しい環境テストや磁気特性、走行特性、耐久性などの品質チェック、さらにデータ測定・分析に至るまで、徹底した品質管理体制を整えています。こうした前向きな姿勢に裏づけされこそ、高品質で信頼性の高い製品に、自信が生まれてくるのです。



振動試料型磁力計(VSM) / 試料に特殊な振動を加えて磁気特性を精密に測定。



DATやフロッピーディスクなどデジタル信号の解析を行ない、高品質・高密度の製品づくりに反映。



X線微小解析(XMA) / 電子ビームにより試料から出でるX線で定性解析、分散性などチェック。



液体クロマトグラフ-GPC / 原材料の有機・無機物質分析やポリマー分子量分布を測定。

信頼性試験 / あらゆる温度・湿度条件のもとで何度もくり返しテスト。

トータルな発想から生まれた、独自の新鋭システム。

テープやフロッピーディスクなど高品質・高性能な磁気製品は、日本ビクター独自の生産システムによって生まれます。原反(生テープ)からパーツ製造、アッセンブリなどトータルな発想から生まれた各工場設備や自社開発の生産機械は、最新のコンピューター技術を駆使した集中管理システムでコントロールされています。このような新鋭生産システムと伝統の音と映像技術から生まれるブランクテープ & ソフトテープは、信頼のビクター/JVCブランドがつけられ全世界へ送り出されています。

ブランクテープ

[ビデオテープ
オーディオテープ
フロッピーディスク]

オーディオ・ビデオのブランクテープやフロッピーディスクはビクターマグネックス㈱の工場で生産されます。原材料からカセット・ハーフなどのプラスチック成型・組み込み、包装工程に至るまで、最新のFA技術によって一貫した生産体制が確立されています。またハイオクオリティな磁気製品にとっては、チリ・ホコリをいつさい排除した理想的な環境づくりが求められます。これにはクラス1,000以下のクリーン度で病院の手術室同等の清潔さを達成・維持しています。このような工程をへて出来あがったすべての製品は、一定の品質・規格が保たれているかどうか、細かな項目をもとにひとつひとつ厳しくチェックされます。このようなハイレベルな生産システムと厳格な品質管理体制がってこそ、常に最高の品質と信頼性の高い製品づくりが実現できるのです。

原材料

磁気製品はすべて磁気ペイント(磁性体の塗料)が重要なポイントです。磁気ペイントの原材料としては、磁性粉、バインダー(磁性粉を固定する接着剤)、添加物、溶剤の4つの原材料が基本となります。

ミキシング

磁気ペイントを作るには、まず4つの原材料(粉と液体)をよく混ぜ合わせることが大切です。磁性粉の特性を充分引き出すには、ミクロン以下の粒子が均等に分散するまで、長時間かけてミキシングします。

コーティング/カレンダリング

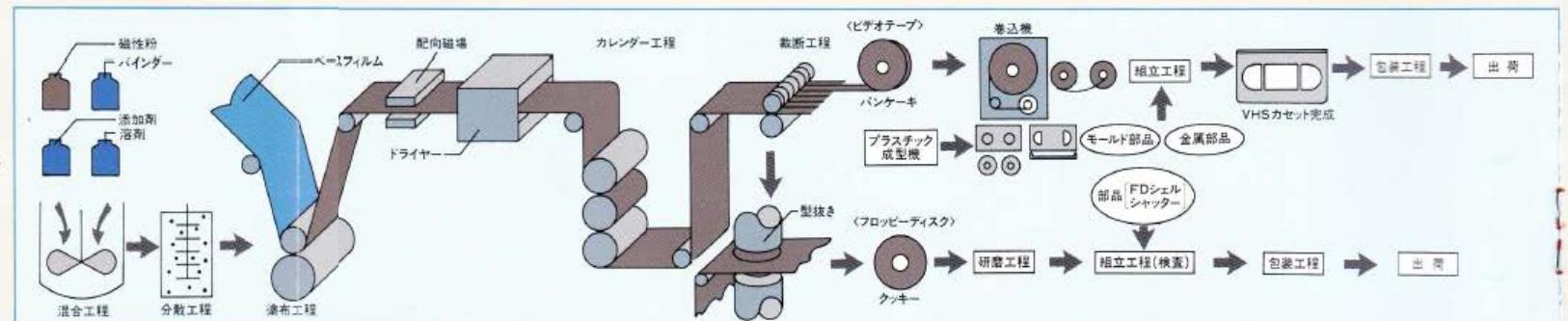
できあがった磁気ペイントがベースフィルムに塗られる工程がコーティングです。次に磁性体を整列させる配向処理をへて乾燥され、カレンダー工程で磁性層の圧縮・表面処理が行われて高密度記録が可能な状態になります。

スリッティング

磁性体が塗られた幅広状のフィルムは、ミクロ・精密度のスリッター刀(円形ナイフ)で用途や種類に合った規格寸法にカットされ、細長いテープとなって円盤状に巻かれ、パンケーキと呼ばれる形になります。

スペックチェック

パンケーキ状になったテープは電気特性や物理特性・磁気特性などを測定用コンピューターによって厳しくチェックされます。そして原反(生テープ)最終工程である梱包・出荷工程へと流れています。



商品開発

ブランク

ソフト

私たちのあゆみ

1965

'65(S40) 2月 / 4トラックオープンリール音楽テープ発売(国産初)
'66(S41) 12月 / コンパクトカセット音楽テープ発売(国産初)
'67(S42) 2月 / 8トラックカートリッジ音楽テープ発売

'65(S40) 5月 / レコード製造部内テープ係発足

'70(S45) 4月 / 4チャンネルオープンリール音楽テープ発売
'72(S47) 6月 / コンパクトミュージックカセットテープ発売

'71(S46) 10月 / 水戸工場(第1工場)完成

'74(S49) 5月 / 事務棟完成
'74(S49) 9月 / 梅水工場設立

'78(S53) 5月 / 第2工場(ビデオカセット)完成

'76(S51) 9月 / VHSビデオテープ発売
'77(S52) 4月 / VHSテープエコノミータイプT-60E, T-120E発売
'78(S53) 7月 / VHSテープT-90E発売
'78(S53) 8月 / 音楽、VHSビデオソフト第1弾発売
'79(S54) 7月 / メタルカセット音楽テープ発売
'79(S54) 9月 / ビクターマグネテープ株設立
'79(S54) 12月 / 第2工場増築

'81(S55) 5月 / ビデオカセット完成

'81(S56) 3月 / オーディオカセットテープ発売
'81(S56) 8月 / VHSテープ HGシリーズ発売
'81(S56) 12月 / マイクロカセットテープ発売
'81(S56) 2月 / 第3工場(ビデオカセット)完成
'81(S56) 9月 / 技術ビル完成

'82(S57) 2月 / JMG設立
'82(S57) 7月 / 都山工場VHS-C工場開業
'82(S57) 10月 / VMT第2工場(研究棟)

マスタリング

オーディオソフトテープはスタジオで録音されたオリジナルテープから、ダビング用のマスター・テープが製作されます。ビデオソフトテープは映像の仕様に合ったマスター・テープとして加工され、マスター再生ディスクにかけられます。



ダビング

オーディオソフトは、マスター再生機から再生されたオーディオ信号が高速ダビング機によって生テープ(パンケーキ)に何十倍ものスピードでコピー(ダビング)されます。ビデオソフトも独自開発のダビングシステムによって、一度に大量にダビングされます。このダビング工程でのビクターの技術力は業界トップクラスで、豊富な知識と長い経験に基づいた独自のノウハウが、AQシステム設備の設計・開発や品質管理体制に大きな反映されています。



アセンブリー

オーディオ、ビデオ共にダビングのあと音質・映像の厳しいチェックが行われ、合格したものはオリジナルソースの時間バリエーションに応じた長さに自動的にカットされ、ハーフに組込まれます。



パッキング

カットハーフに組込まれたオーディオ・ビデオテープは、各レベル貼りやケース入れなど最後の上書きが行われ、包装・箱詰めされた後、直ちに物流センターを経由して各地へ配送されます。



先進の技術と設備で世界に展開する工場。

日本ビクターの磁気製品は、日本、ドイツ、アメリカの3拠点で生産されています。磁気製品事業本部のある茨城県水戸市には総合工場(ソフト&プランク)としての水戸工場、水戸から約30km南東には鉢田工場、ドイツのメンヘングラードバッハにあるJVCドイツ工場(JMG)、アメリカのアラバマ州タスカルーサにはJVCアメリカ工場(JMA)があります。これらの工場は最高の技術レベルと最新の設備によって結ばれ、市場に直結した生産・販売体制が世界に展開されています。



ビクターマグネティックス株鉢田工場



日本ビクター株水戸工場/磁気製品事業本部



JVCマグネティックス
ヨーロッパGmbH(JMG)



メンヘングラードバッハ(JMG)



タスカルーサ(JMA)

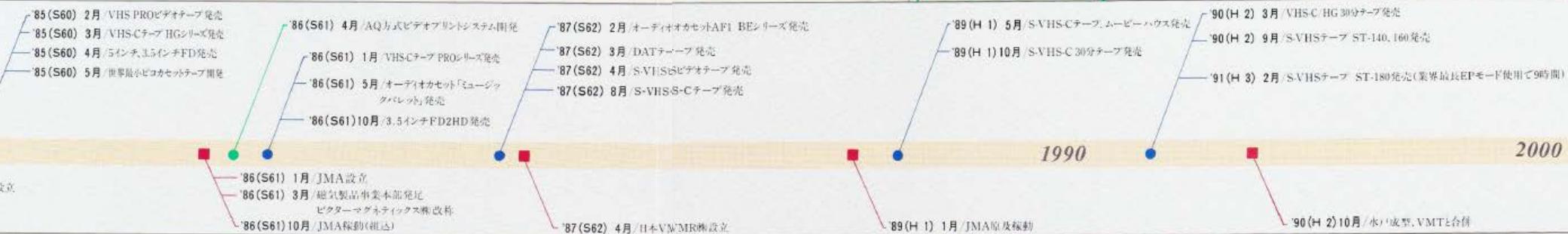
バーツモールド/アセンブリー

一方、カセットハーフなどのプラスチック部品はコンピューター制御された成型機で精巧に作られ、パネルなどの金属部品も自動的に取り付けられます。次に、ワインダー(巻込機)によってパンケーキから一定の長さに一本ずつ巻き込みカットされたテープがカセットハーフに組み込まれていきます。VHSもVHS-Cもこのようにバーツ成型からアセンブリーまですべての工程が自動化された一貫システムで作られています。



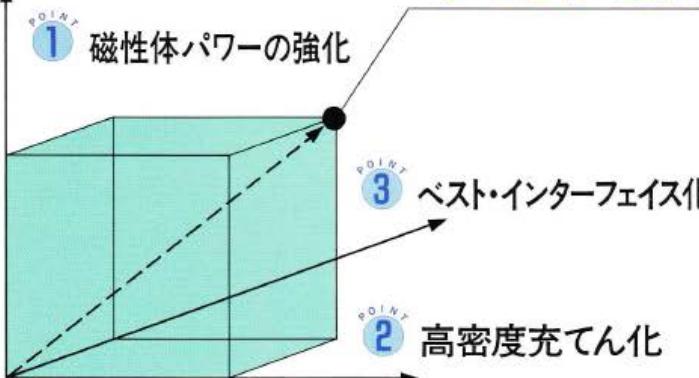
パッキング

テープが巻き込まれ、完成品の形になったテープは、ケースに入れられた後に、自動的に包装・箱詰めされ、いよいよ出荷となります。そして国内はもちろん、海を越えて世界の各地のお客さまのもとへ届けられます。



ビクターはプロが認めた高技術力で ユーザーニーズに応えます。

TOUGH & PURE NEW ビクタービデオテープ



「磁性体パワーの強化」×「高密度充てん化」×「ベスト・インターフェイス化」ビクターは、この3つの方向性をバランスよく保ちながら技術を開発。その成果は、プロにも高く評価されています。今回、この技術力を投入してフルモデルチェンジ。「タフなだけじゃない、こんなキレイなテープが欲しかった。」お客様に、そう言われるにふさわしいビデオテープが完成しました。

1 磁性体パワーの強化

〔リファイン・スーパー・コバルト・マグネタイト磁性体〕
Limited/XZ/XG

〔リファイン・コバルト・マグネタイト磁性体〕HG AV

コバルト・マグネタイト磁性体を細部にわたってリファイン。磁性体の大きさを均一化し、またコバルト・フェラ・ト層に加え、新コーティング層を開発。バインダとの親和力が向上し、より強固な磁性層が形成され、質感のある映像、ピュアな音を実現しました。



2 高密度充てん化

〔パワーカレンダー〕

Limited/XZ

新カレンダーロールはテープへの接触面積を小さくすることにより、単位面積当りの圧力をアップし、リファイン・コバルト・マグネタイト磁性体を破壊することなくギッシリ詰め込みました。



〔マルチ・リニア・オリエンテーション〕

Limited XZ/XG HG

ひとつひとつの磁性体を規則正しく一定方向に配列するマルチ・リニア・オリエンテーション(多段直線配向)技術を採用。高密度充てん効果と併せて、さらに高出力・低ノイズ化を実現しました。



3 ベスト・インターフェイス化

〔ビスコ・エラスティック構造バインダ〕

Limited/XZ

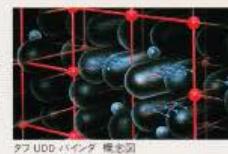
テープとヘッドとのコンタクトを十分に保つために開発された新構造は、強い衝撃にはばやい強靭性を、緩やかな衝撃にはしなやかな粘性を発揮。情報を余すことなくキャッチします。



〔タフ UDD バインダ〕

HG AV

磁性体同士をガッチリ結合させるとともに、磁性体のベースフィルムへの確実な接着を実現。磁性層の高剛性化と併せてしなやかさを両立し、高耐久性と安定走行性を実現しました。



3本柱のSS理論 (Sensitive Science)

最終的に緻密な画質、ふくよかな音質を得るための手段や目的を体系化したビクター独自の磁性層形成理論です。「よりパワフルな素材をより効率よくテープ化」するための複合技術力が示されています。

●スーパーパワー指数 (当社比)

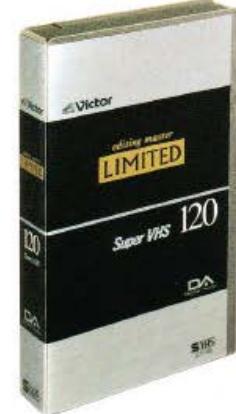
603
×10³

スーパーパワー指数 = $\sigma S \times \frac{1}{\text{充てん率}} \times \text{磁性体体積}$

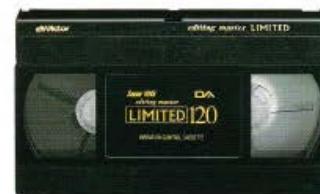
パワーのある磁性体が、テープにどれだけ詰め込まれているかを明確にしました。指数が大きい程、ハイパワーなテープです。

高画質時代をリードするのは、タフ&ピュアのビクターです。

スーパーVHSの最高峰。



editing master LIMITED



プロの編集、保存マスターに。

SVHS DA
スーパー・パワー・指数

603
×10³



プロが選んだ
グランプリ
受賞

ST-120EMC ¥3,000 (税別)
※表示価格はすべて標準価格です。

いつまでも美しい、パワフル画質。

大切なTV番組の保存に。



VHS
スーパー・パワー・指数

398
×10³

T-180HGC	¥1,850 (税別)
T-160HGC	¥1,390 (税別)
T-140HGC	¥1,180 (税別)
T-120HGC	¥980 (税別)
T-90HGC	¥960 (税別)
T-60HGC	¥900 (税別)
T-30HGC	¥780 (税別)
T-20HGC	¥740 (税別)
2T-120HGC	¥1,920 (税別)
3T-120HGC	¥2,880 (税別)
5T-120HGC	¥4,800 (税別)
2T-160HGC	¥2,740 (税別)
2T-180HGC	¥3,660 (税別)

※表示価格はすべて標準価格です。

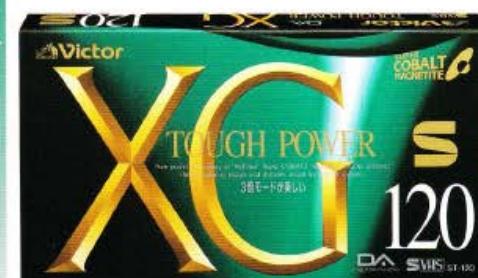
質感、奥行感で差がわかる高品位画質。

高純度のダビングマスター、ソフトづくりに。



3倍モードがキレイな高画質設計。

3倍モード・長時間番組の録画に。



SVHS DA
スーパー・パワー・指数

553
×10³

ST-180XZC ¥2,500 (税別)
ST-120XZC ¥1,250 (税別)
2ST-120XZC ¥2,460 (税別)

※表示価格はすべて標準価格です。

何度くり返しても強い、タフ画質。

気軽な使い回し、重ね録りに。



VHS
スーパー・パワー・指数

260
×10³

T-160AVC	¥1,210 (税別)
T-140AVC	¥1,000 (税別)
T-120AVC	¥810 (税別)
T-60AVC	¥780 (税別)
T-30AVC	¥680 (税別)
2T-120AVC	¥1,580 (税別)
3T-120AVC	¥2,370 (税別)
5T-120AVC	¥3,950 (税別)

※表示価格はすべて標準価格です。

SVHS DA
スーパー・パワー・指数

518
×10³

ST-180XGC ¥2,200 (税別)
ST-160XGC ¥1,650 (税別)
ST-140XGC ¥1,500 (税別)
ST-120XGC ¥1,100 (税別)
ST-60XGC ¥1,000 (税別)
2ST-120XGC ¥2,160 (税別)
3ST-120XGC ¥3,240 (税別)
2ST-180XGC ¥4,360 (税別)

※表示価格はすべて標準価格です。

’93年 TECHNOLOGY一覧

	Limited	XZ	XG	HG	AV
磁性体技術		リファイン・スーパー・コバルト・マグネタイト		リファイン・コバルト・マグネタイト	
バイフレーション・コントロール・システム	●高制振性カセット ●VTスプリング				
磁性層形成理論	SS理論(Sensitive Science)				
バインダ技術	ビスコ・エラスティック構造バインダ	NEW S-UDD バインダ		タフ UDD バインダ	
高密度充てん技術		SDS			
分散技術	VCプロセス+SDS		ODS		HDS
配向技術		マルチ・リニア・オリエンテーション(多段直線配向)			LPO
ベースフィルム	S-UDD	S-SDR		SDR	
表面平滑化技術	アクティブ・ミラー・サーフィス		アクティブ・サーフィス		
カセットハーフ	世界初2層構造ハーフ	高精度RXハーフ			